令和９（2027）年度

学　生　募　集　要　項

一般選抜（前期日程・後期日程）

国立大学法人
東京海洋大学
Tokyo University of Marine Science and Technology

令和８（2026）年10月

令和９（2027）年度一般選抜日程

区　分	一　般　選　抜	
	前 期 日 程	後 期 日 程
出 願 期 間	令和９（2027）年１月 25 日（月）～2 月 3 日（水）郵送必着	
入 学 試 験 日	令和９（2027）年２月 25 日（木）	令和９（2027）年３月 12 日（金）
合 格 発 表 日	令和９（2027）年３月８日（月）	令和９（2027）年３月 23 日（火）
入 学 手 続 日	令和９（2027）年３月８日（月）～3 月 15 日（月）	令和９（2027）年３月 23 日（火）～3 月 27 日（土）
入　学　日	令和９（2027）年４月１日（木）	

〈海洋生命科学部及び海洋資源環境学部における入学者選抜（一般選抜）に係る変更点について〉

海洋生命科学部及び海洋資源環境学部では、平成 26 年 4 月入学生から TOEIC スコア 600 点の取得を学部 4 年次への進級要件とするなど、グローバル人材育成改革に取り組んできました。その中において、平成 28 年度の入学者選抜から入試改革として外部英語資格試験のスコア提出を出願要件としてきました。

この度、学内のグローバル教育の支援体制が構築されたことを受けて、一般選抜（前期日程及び後期日程）の出願要件である英語資格･検定試験のスコアを証明する書類の提出を廃止します。

〈不測の事態が発生した場合の諸連絡〉

災害等により不測の事態が発生した場合、本学入学者選抜に関する情報提供は本学ホームページより行いますので、出願及び受験の直前は特に注意してください。

本学ホームページ（TOP ページ →NEWS → 一覧を見る → 学部入試）

〈「留学」ビザの申請について〉

外国人の方で海外に居住し、合格後に渡日する場合は、前もって「留学」ビザを申請する必要があります。出願をした時点で国際･教学支援課留学生係（ks-ryuu@o.kaiyodai.ac.jp）まで連絡してください。

〈インフルエンザ等罹患者への対応について〉

★学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に関する注意事項について

入学試験当日、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症（インフルエンザ、麻疹、水疱瘡、新型コロナウイルス等）に罹患し治癒していない場合は、他の受験生や監督者等への感染の恐れがありますので、原則として受験をご遠慮願います。ただし、病状により医師が感染の恐れがないと判断した場合は、この限りではありません。

なお、上記により受験をご遠慮いただいた場合でも、追試験等の特別措置及び入学検定料の返還は行いません。試験当日の体調には十分に注意してください。

〈令和８年熊本地震への対応について〉

令和８年熊本地震の被災者が出願する入学者選抜試験のうち､出願受付期間が令和８年９月１日～令和９年７月 27 日の入学者選抜試験を対象とし、入学検定料を免除します。申請方法及び審査等は以下をご確認ください。

https://www.kaiyodai.ac.jp/news/e_undergraduate/detail/8_9.html

〈「入試過去問題活用宣言への参加」について〉

本学は、「入試過去問題活用宣言」に参加しており、アドミッション・ポリシーを実現するため必要と認める範囲で「宣言参加大学」の入試過去問題あるいは類似問題を使用して出題することがあります。ただし必ず利用するとは限りません。

「入試過去問題活用宣言」の詳細については次のホームページにてご確認ください。

https://www.nyushikakomon.jp/

目　　次

出願の流れ ..... i ～iv
大学の理念、大学の人材養成と目標、アドミッション･ポリシー（入学者受入方針）及び教育研究上の目的 ..... - 1 -
各学部のアドミッション･ポリシー ..... - 2 -
　海洋生命科学部 ..... - 2 -
　海洋工学部 ..... - 3 -
　海洋資源環境学部 ..... - 4 -
各学科のアドミッション･ポリシー ..... - 5 -
　《海洋生物資源学科》 ..... - 5 -
　《食品生産科学科》 ..... - 6 -
　《海洋政策文化学科》 ..... - 7 -
　《海事システム工学科》 ..... - 8 -
　《海洋電子機械工学科》 ..... - 9 -
　《流通情報工学科》 ..... - 10 -
　《海洋環境科学科》 ..... - 11 -
　《海洋資源エネルギー学科》 ..... - 12 -
1.　募集学部･学科及び募集人員総表 ..... - 13 -
2. 入試実施方式及び募集方法 ..... - 17 -
3. 出願資格 ..... - 17 -
4. 出願手続 ..... - 18 -
5. 健康診断について ..... - 24 -
6. 障害等のある入学志願者との事前相談について ..... - 25 -
7. 選抜方法 ..... - 26 -
　海洋生命科学部 ..... - 26 -
　海洋工学部 ..... - 33 -
　海洋資源環境学部 ..... - 41 -
8. 不正行為の取扱い ..... - 46 -
9. 合格者の発表 ..... - 46 -
10. 入学手続 ..... - 47 -
11. 欠員補充 ..... - 47 -
12. 個人情報の取扱い ..... - 48 -
13. 入試情報開示 ..... - 48 -
14. 学生寮のお知らせ（令和 9（2027）年度学部第 1 年次入学者） ..... - 50 -

出願の流れ

出願登録はインターネットで行います。出願登録から受験票の印刷までの流れは、以下の通りです。

STEP 1	STEP 2	STEP 3	STEP 4	STEP 5	STEP 6		STEP 7
事前準備	出願サイトにアクセス	マイページの登録	出願内容の登録	入学検定料の支払い	必要書類の提出	出願完了	受験票の印刷

STEP 1 事前準備

インターネットに接続されたパソコン、プリンターなどを用意してください。（スマートフォン、タブレットは非推奨）
必要書類※は、発行まで時間を要する場合があります。
早めに準備を始め、出願前には必ず手元にあるようにしておいてください。

大学入学共通テストの成績請求情報の提供手続は「Web方式」になります。
大学入学共通テスト出願サイトのマイページにある「出願内容確認・訂正」から「申込番号」を確認し、控えておいてください。

※必要書類は、必ず募集要項で確認してください

STEP 2 インターネット出願サイトにアクセス

インターネット出願サイト ▶ **https://e-apply.jp/ds/tkaiyo-u/**

または、

大学ホームページ ▶ **https://www.kaiyodai.ac.jp/**

からアクセス

STEP 3 マイページの登録

出願登録には事前にマイページの作成が必要となります。
マイページ登録後、出願期間になったら専用サイト及び画面の手順に従って、必要事項を入力してマイページ登録を行ってください。
なお、マイページの登録がお済みの方は、STEP4に進んでください。

①初めて登録する方は **マイページ登録** からログインしてください。

②メールアドレスの登録を行って **仮登録メールを送信 >** をクリックしてください。

③ユーザー登録画面から **ログインページへ** をクリックしてください。

④登録したメールアドレスに初期パスワードと本登録用URLが届きます。
※@e-apply.jpのドメインからのメールを受信できるように設定してください。

⑤ログイン画面から登録したメールアドレスと④で届いた『初期パスワード』にて **ログイン** をクリックしてください。

⑥初期パスワードの変更を行ってください。

⑦表示された個人情報を入力して **次へ** をクリックしてください。

⑧個人情報を確認して **この内容で登録する** をクリックしてください。

⑨登録完了となります。
マイページへ を
クリックしてください。

⑩上記ページが表示されたら
マイページ登録は完了です。

※出願受付中の場合のみ、出願手続きを行う > ボタンをクリックすると
出願手続に進めます。
登録期間外の場合は、これより先に進めませんので ログアウト ボタンを
クリックしてください。

STEP 4 出願内容の登録

マイページ登録が完了された方は、出願サイトTOPページのログインからマイページに登録したメールアドレス及び設定したパスワードを入力し画面の手順や留意事項を必ず確認して、画面に従って必要事項を入力してください。

①マイページログイン後の
出願手続きを行う > ボタン
から登録画面へ

②入試選択と留意事項の確認

③志望学部等の選択

④成績開示の登録
成績開示の希望の有無を選択してください。
手数料:1件600円(検定料と併せて支払い)。
※出願登録時以外の申請はできません。
既納の手数料は、以下の場合を除き返還いたしません。
1.手数料を支払ったが出願書類を提出しなかった、または出願が受理されなかった場合
2.出願後に無資格であることが判明した場合

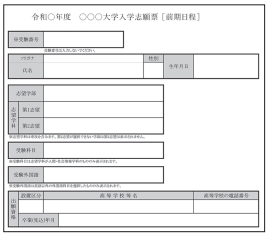
⑤顔写真のアップロード
写真選択へ > ボタンをクリックし
写真を選択します。

⑥個人情報(氏名･住所等)の
入力

⑦出願内容の確認及び登録
※入学志願票のテスト出力が出来ますので、誤りがないか必ず確認してください。
大学入試センターへの連係情報の入力
※入力に必要な情報は大学入試センターの
「大学入学共通テスト出願システム」のマイページから確認してください。

⑧出願申込完了
引き続き支払う ボタンを
クリックし検定料のお支払い画面へ。
受付番号(12桁)は必ず控えてください。
また、支払手続き案内メールが送付されます。

[STEP5]
入学検定料の支払い方法
●コンビニエンスストア
●ペイジー対応銀行ATM
●ネットバンキング
●クレジットカード



[STEP6]
出願に必要な書類PDF(イメージ)
※検定料納入後に印刷できます。

出願申込完了後は、登録内容の修正･変更ができませんので誤入力のないよう注意してください。もし、申込後に修正が必要な場合は、入学検定料支払い前であれば正しい出願内容で再登録することができます。

メールを受信制限している場合は、送信元(@e-apply.jp)からのメール受信を許可してください。※送信メールが迷惑フォルダなどに振り分けられる場合がありますので、注意してください。

入学検定料の支払い方法で「コンビニエンスストア」または「ペイジー対応銀行ATM」を選択された方は、支払い方法の選択後に表示されるお支払いに必要な番号を控えたうえ、通知された「お支払い期限」内にコンビニエンスストアまたはペイジー対応銀行ATMにてお支払いください。クレジットカードを選択した場合は、出願登録と同時に支払いが完了しますので注意してください。

STEP 5

入学検定料の支払い

1 クレジットカードでの支払い

出願内容の登録時に選択し、支払いができます。

【ご利用可能なクレジットカード】
VISA、Master、JCB、AMERICAN EXPRESS、MUFGカード、DCカード、UFJカード、NICOSカード

出願内容の登録と同時に支払い完了

2 ネットバンキングでの支払い

出願内容の登録後、ご利用画面からそのまま各金融機関のページへ遷移しますので、画面の指示に従って操作し、お支払いください。

※決済する口座がネットバンキング契約されていることが必要です

Webで手続き完了

3 コンビニエンスストアでの支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、コンビニエンスストアでお支払いください。

●レジで支払い可能

セブン-イレブン
デイリーヤマザキ
Seicomart

●店頭端末を利用して支払い可能

Loppi　LAWSON　MINI STOP
マルチコピー機　FamilyMart

4 ペイジー対応銀行ATMでの支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、ペイジー対応銀行ATMにて画面の指示に従って操作のうえお支払いください。

※利用可能な銀行は「支払い方法選択」画面で確認してください。

各コンビニ端末画面・ATMの画面表示に従って必要な情報を入力し、内容を確認してから入学検定料を支払ってください。

3 コンビニエンスストア

セブン-イレブン	デイリーヤマザキ ヤマザキデイリーストアー	ローソン ミニストップ	ファミリーマート	セイコーマート
店頭レジ	店頭レジ	Loppi	マルチコピー機	店頭レジ
レジで「インターネット代金支払い」と伝える	レジで「オンライン決済」と伝える	「各種番号をお持ちの方」を選択	「代金支払い/チャージ（コンビニでお支払い Payment/Charge）」を選択	レジで「インターネット代金支払い」と伝える
「払込票番号（13桁）」を伝える	「オンライン決済番号（11桁）」を伝える	「お客様番号（11桁）」入力	「お客様番号（11桁）」入力	「オンライン決済番号（11桁）」を伝える
		「マルチペイメントサービス」を選択		
		「確認番号（6桁）」入力	「確認番号（6桁）」入力	
		支払い内容確認	支払い内容確認	
レジで検定料を現金で支払う		発券された申込券（受付票）をレジへ持参し、検定料を現金で支払う 申込券（受付票）発行後は30分以内にレジにて支払ってください。		レジで検定料を現金で支払う
領収書（レシート形式）を必ず受け取る		払込受領証または受領書（レシート形式）を必ず受け取る		

4 銀行ATM

Pay-easy 利用ATM
ペイジー対応銀行ATM
「税金・料金払い込み」などを選択
収納機関番号「58021」を入力
「お客様番号（11桁）」入力
「確認番号（6桁）」入力
支払い内容確認
「現金」「キャッシュカード」を選択し支払う
ご利用明細書を必ず受け取る

STEP 6 必要書類の郵送

＊登録しただけでは出願は完了していませんので注意してください。

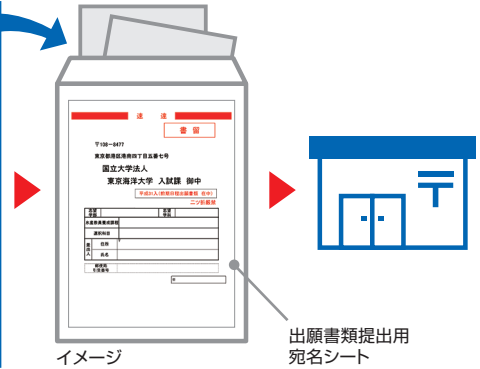
必要書類を出願期間内に郵便局窓口から「**書留速達**」で郵送してください。

必要書類

出願に必要な書類は、各学生募集要項「出願書類」を参照して準備してください。

入学志願票 ＋ **調査書等**

※開封無効



イメージ

送付先	〒108-8477　東京都港区港南4-5-7 東京海洋大学　入試課　行

「入学志願票」の印刷方法

(1) マイページに表示された 入学志願票 のボタンをクリックしてください。

(2) お支払いが正常に完了すると 入学志願票 のボタンがクリックできるようになり入学志願票の印刷ができます。

※一度受理した入学検定料・必要書類は一切返却しません。

〈出願完了〉

出願時の注意点

出願はインターネット出願サイトでの登録完了後、入学検定料を支払い、必要書類を郵送して完了（各選抜の出願締切日必着）となります。登録しただけでは出願は完了していませんので注意してください。

インターネット出願は24時間可能です。ただし、インターネット出願登録、検定料の支払い、出願に必要な書類の提出期間は学生募集要項に記載の通りです。ゆとりを持った出願を心がけてください。

STEP 7 受験票の印刷

出願期間後に、インターネット出願サイトから受験票が印刷できるようになります。受験票が印刷可能になったら、メールで通知が届きます。
インターネット出願システムのログインボタンからログインして、必ず各自で受験票を印刷し、試験当日に持参してください。

※パソコン等の画面上の受験番号と、実際に印刷された受験票の受験番号が一致していることを必ず確認してください。

大学の理念、大学の人材養成と目標、アドミッション･ポリシー（入学者受入方針）及び教育研究上の目的

東京海洋大学は、大学の理念、大学の人材養成と目標、アドミッション･ポリシー（入学者受入方針）及び教育研究上の目的を次のように掲げています。

大学の理念

人類社会の持続的発展に資するため、海洋を巡る学問及び科学技術に係わる基礎的･応用的教育研究を行う。

大学の人材養成と目標

我が国が海洋立国として発展し、国際貢献の一翼を担っていくためには、国内唯一の海洋系大学である東京海洋大学が、「海を知り、海を守り、海を利用する」ための教育研究の中心拠点となって、その使命を果たす必要がある。このような基本的観点に立ち、本学は、研究者を含む高度専門職業人養成を核として、海洋に関する総合的教育研究を行い、次の能力･素養を有する人材を養成する。

一 海洋に対する科学的認識を深化させ、自然環境の望ましい活用方策を提示し、実践する能力
二 論理的思考能力、適切な判断力、社会に対する責任感をもって行動する能力
三 現代社会の大局化した諸課題について理解･認識し、対応できる実践的指導力
四 豊かな人間性、幅広い教養、深い専門的知識･技術による課題探求、問題解決能力
五 国際交流の基盤となる幅広い視野･能力と文化的素養

アドミッション･ポリシー（入学者受入方針）

東京海洋大学は、海洋分野において国際的に活躍する産官学のリーダーを輩出する世界最高水準の卓越した大学を目指しています。

海洋･海事･水産分野に興味のある次のような人を求めています。

本学の教育を受けるうえで必要な素養と基礎学力を有し、旺盛な学修意欲があり、新しい課題に積極的に取り組もうとする人、常に視野を広め、主体的に考える姿勢を持った人、コミュニケーション能力を高め、異なる考え方や文化を尊重する人、グローバル社会での活躍を目指す人を多様な入試方法により国内外から広く受け入れます。

教育研究上の目的

海洋生命科学部においては、海洋を含めた水圏に生息する多様な生物の資源としての保全･利用やそれらに関するバイオテクノロジー、食料の利用･加工、海洋政策や文化に関心と興味を持ち、これらに係わる諸課題を追求し、解決するための行動力とグローバル化への対応力を身につけた高度専門職業人を養成するとともに、これらの諸課題に係わる基礎から応用に至るまでの研究を行うことにより、人類社会の発展に貢献することを教育研究上の目的とする。

海洋工学部においては、海上輸送に関連する海、船の利用及び物流等に強い関心を持ち、工学的視点からこれらに係わる諸課題の理解と解決に必要な高度な技術と専門知識を含む幅広い教養、及び豊かな人間性を身につけた国際的にも活躍できる高度専門職業人を養成するとともに、これらの諸課題に係わる基礎から応用に至るまでの研究を行うことにより、人類社会の発展に貢献することを教育研究上の目的とする。

海洋資源環境学部においては、海洋環境の保全と、海底を含めた海洋資源の開発と持続的利用に関心を持ち、これらに係わる諸課題をグローバルな観点から俯瞰し、解決するための高度な知識と技術を身につけ、応用力のある高度専門職業人を養成するとともに、これらの諸課題に係わる基礎から応用に至るまでの研究を行うことにより、人類社会の発展に貢献することを教育研究上の目的とする。

各学部のアドミッション･ポリシー

海洋生命科学部

1. 入学者受入れ方針

海洋生命科学部では、生命科学をはじめとする自然科学、人文･社会科学の深い理解を基盤に、人類社会の持続可能な発展に資するために、海洋を含む水圏に関するグローバルな諸課題に関心を持ち、ディプロマ・ポリシーにおいて掲げる専門的学識、自ら考え判断する能力、豊かな国際性と教養、および現場で適用する実践力を卒業時までに修得することができる素養、能力を有する人を求める。

2. 求める素養･能力

【専門的学識を修得するための素養・能力】

本学部の教育を受けるために必要な素養と英語力を含む基礎学力を有すること。

【自ら考え判断する能力を修得するための素養・能力】

旺盛な学修意欲があり、新しい課題に積極的に取り組めること。また、常に視野を広め、主体的に考える姿勢を持つこと。

【豊かな国際性と幅広い教養、現場で通用する実践力を修得するための素養・能力】

コミュニケーション能力を高め、異なる考え方や文化を尊重できること。また、実用的に使える英語力を修得し、グローバル社会での活躍を目指すこと。

3. 入学者選抜の基本方針、評価方法

一般選抜（前期日程）

基礎学力を幅広く身につけている人を選抜するために、大学入学共通テスト及び教科・科目に係る個別テストの総合点で判定する。

一般選抜（後期日程）

基礎学力とともに、考えを論理的に展開し、適切に表現する能力を身につけている人を選抜するために、大学入学共通テスト及び教科・科目に係る個別テストの総合点で判定する。

海洋工学部

1. 入学者受入れ方針

海洋工学部では、海上輸送に関連する海、船舶、省エネルギー技術、物流、情報システム等のグローバルな諸課題に関心を持ち、ディプロマ・ポリシーで掲げている専門的知識を含む幅広い教養と豊かな人間性、課題の発見･理解力と解決力、国際的に活躍できる能力を卒業時までに修得することができる素養を有する人を求める。

2. 求める素養･能力

【幅広い視野･文化的素養】

大学での学修を通じて文化的素養を身に付けるために必要な基礎的能力を有していること。また、入学後に総合科目･専門導入科目の修得を通じ、幅広い視野を身に付け課題に取り組む意欲を有していること。

【コミュニケーション能力】

実験、実習、演習、卒業研究等への取組を通じて、幅広い情報収集や分析を行い、発信できるコミュニケーション能力を身に付ける意欲を有していること。

【専門的知識･問題解決能力】

専門導入科目、専門科目の履修を通じて、幅広い専門的知識を修得し、それらを活用して課題を発見･理解し、解決することに強い関心があること。

【実践的指導力･リーダーシップ】

実験、実習、演習、卒業研究等への取組を通じて、グローバル社会のリーダーとして求められる実践的指導力を身に付ける意欲を有していること。

【自ら判断･行動できる能力】

自ら課題に対して、論理的に考え、判断し、行動する能力を身に付ける意欲を有していること。

3. 入学者選抜の基本方針、評価方法

一般選抜（前期日程）

大学入学共通テストでは、国語、地理･歴史、公民、数学、理科、外国語、情報により幅広い分野の基礎的学力を評価する。また、本学で課す数学と外国語の試験により、数理的な素養や語学力を評価する。

一般選抜（後期日程）

大学入学共通テストでは、特に数学と外国語により、数理的素養と語学力を評価する。また、海事システム工学科と海洋電子機械工学科の志望者に対しては理科の試験を課し、理科に関する理解度を評価するとともに、全学科で外国語の試験を課し、語学力を評価する。

海洋資源環境学部

1．入学者受入れ方針

海洋資源環境学部では、海洋環境の保全、海洋の資源とエネルギーの持続的開発・利用に関心を持ち、ディプロマ・ポリシーにおいて掲げる専門的学識、自ら考え判断する能力、豊かな国際性と幅広い教養、および現場で通用する実践力を卒業時までに修得することができる素養・能力を有する人を求める。

2．求める素養・能力

【専門的学識を修得するための素養・能力】

自然科学から工学の広範な教育を受けるために必要な素養と基礎学力及び海洋環境や海洋資源に関する広範な領域の学修意欲と、新しい課題への積極性を有すること。

【自ら考え判断する能力を修得するための素養・能力】

様々な問題に取り組むための広い視野と、主体的な考え方を持つこと。

【豊かな国際性と幅広い教養、現場で通用する実践力を修得するための素養・能力】

多様な人々と協働するための意思疎通能力の基礎と、異なる考え方や文化を理解・尊重する精神及びグローバルに活躍するための基礎語学力と意欲を有すること。

3．入学者選抜の基本方針、評価方法

一般選抜（前期日程）

基礎学力を幅広く身につけている人を選抜するために、大学入学共通テスト及び教科・科目に係る個別テストの総合点で判定する。

一般選抜（後期日程）

基礎学力とともに、考えを論理的に展開し、適切に表現する能力を身につけている人を選抜するために、大学入学共通テスト及び教科・科目に係る個別テストの総合点で判定する。

各学科のアドミッション･ポリシー

海洋生命科学部

《海洋生物資源学科》

1. 入学者受入れ方針

海洋生物資源学科では、沿岸から沖合、深海に加え、河川や湖沼に生きる生物を対象として、生態系のなかでの多様性を保全しつつ、これら生物を持続的に利用していくための海洋生物学、生命科学、資源生物学について幅広く教育・研究する。その内容は遺伝子、細胞、個体レベルから個体群、そして生態系レベルまでをカバーする。水に生きる動植物を守り、育むための生理学、病理学、遺伝育種学、バイオテクノロジー、生態学、資源学を学び、これらを技術として応用することに興味と意欲を持ち、ディプロマ・ポリシーにおいて掲げる専門的学識、自ら考え判断する能力、豊かな国際性と教養、および現場で適用する実践力を卒業時までに修得することができる素養、能力を有する人を求める。

2. 求める素養・能力

【専門的学識を修得するための素養・能力】

入学後の学修に必要な幅広い基礎学力を有していること。とりわけ数学と理科（物理、化学または生物）の基礎学力を有していること（※）。

（※）数学については、数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B、数学C
物理については、物理基礎、物理
化学については、化学基礎、化学
生物については、生物基礎、生物

【自ら考え判断する能力を修得するための素養・能力】

旺盛な学修意欲があり、海洋生物やそれを取り巻く環境に関する様々な課題に積極的に取り組むこと。また、常に視野を広め、上記課題について主体的に考え、それを解決するために行動する姿勢を持つこと。

【豊かな国際性と幅広い教養、現場で通用する実践力を修得するための素養・能力】

海洋生物資源学科における大学生活を通じてコミュニケーション能力を高めること。また、異なる考え方や文化を尊重できる人材となること。さらに、海洋生物資源学科で学んだことを礎に、グローバル社会での活躍を目指すこと。

3. 入学者選抜の基本方針、評価方法

【入学者選抜の基本方針】

本学科での教育を受けるうえで必要な素養・能力を判定するために、以下の選抜を行う。

一般選抜（前期日程・後期日程）

一般選抜（前期日程）では、基礎学力を幅広く身につけている人を選抜するために、大学入学共通テスト及び教科・科目に係る個別テスト（数学・理科）の総合点で判定する。一般選抜（後期日程）では、基礎学力とともに、考えを論理的に展開し、適切に表現する能力を身につけている人を選抜するために、大学入学共通テスト及び教科・科目に係る個別テスト（小論文）の総合点で判定する。

《食品生産科学科》

1. 入学者受入れ方針

食品生産科学科では、安全で信頼性の高い水産生物を主とする食品を持続的に供給するため、食資源を化学、微生物学、物理学、工学的な手法を用いて余すことなく利用する技術開発を行い、食品の安全性の確保・向上と新しい機能をもつ食品の開発と評価について教育・研究する。水産生物を食資源として有効利用すること、食品の原料から製造加工、流通、消費に至るまでを対象とした安全性の確保・向上、食品の新しい機能開発などに関心がある人を求める。

2. 求める素養・能力

【専門的学識を修得するための素養・能力】

入学後の学修に必要な幅広い基礎学力を有していること。とりわけ数学と理科（物理、化学または生物）の基礎学力を有していること（※）。

（※）数学については、数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B、数学C
物理については、物理基礎、物理
化学については、化学基礎、化学
生物については、生物基礎、生物

【自ら考え判断する能力を修得するための素養・能力】

旺盛な学修意欲があり、新しい課題に積極的に取り組むこと。また、「食」に関する社会的な問題にも幅広く関心を示し、主体的に考える姿勢を持つこと。

【豊かな国際性と幅広い教養、現場で通用する実践力を修得するための素養・能力】

他人とのコミュニケーションに積極的であり、適切な自己表現ができること。また、異なる考え方や文化を尊重し、グローバル社会での活躍を目指すこと。

3. 入学者選抜の基本方針、評価方法

【入学者選抜の基本方針】

本学科での教育を受けるうえで必要な素養・能力を判定するために、以下の選抜を行う。

一般選抜（前期日程・後期日程）

一般選抜（前期日程）では、基礎学力を幅広く身につけている人を選抜するために、大学入学共通テスト及び教科・科目に係る個別テスト（数学・理科）の総合点で判定する。一般選抜（後期日程）では、基礎学力とともに、考えを論理的に展開し、適切に表現する能力を身につけている人を選抜するために、大学入学共通テスト及び教科・科目に係る個別テスト（小論文）の総合点で判定する。

《海洋政策文化学科》

1. 入学者受入れ方針

海洋政策文化学科では、政策的アプローチ、産業的アプローチ、文化的アプローチにより、理論と実践における考察力と実践力を練磨するために、「海・人・社会」の望ましい関係の在り方について幅広く教育・研究する。本学科は、理系・文系の垣根をこえ、海洋政策、海と人との共生に対して積極的な関心を有し、また、法律、経済、人文学、海洋スポーツ、教育など、幅広い分野に興味のある人を求める。

2. 求める素養・能力

【専門的学識を修得するための素養・能力】

入学後の学修に必要な幅広い基礎学力を有していること。

【自ら考え判断する能力を修得するための素養・能力】

論理的な思考力を有していること。また、ものごとを多角的に検討できる判断力を有していること。

【豊かな国際性と幅広い教養、現場で通用する実践力を修得するための素養・能力】

自らの考えを的確に伝える表現力を有していること。また、旺盛な学修意欲があり、幅広い視野に立って、新しい課題に積極的に取り組む姿勢を有していること。

3. 入学者選抜の基本方針、評価方法

【入学者選抜の基本方針】

本学科での教育を受けるうえで必要な素養・能力を判定するために、以下の選抜を行う。

一般選抜（前期日程・後期日程）

一般選抜（前期日程）では、基礎学力とともに、論理的思考にもとづいて適切に文章を読解・作成する能力を身に着けている人を選抜するために、大学入学共通テスト及び教科・科目に係る個別テスト（数学または理科の 1 科目選択、及び小論文）の総合点で判定する。一般選抜（後期日程）では、基礎学力とともに、論理的思考にもとづいて適切に文章を読解・作成する能力を身につけている人を選抜するために、大学入学共通テスト及び教科・科目に係る個別テスト（小論文）の総合点で判定する。

海洋生命科学部では、TOEIC L&R スコア 600 点取得を学部第 4 年次への進級要件としています。
その支援のため、TOEIC 学習専門の英語教員の配置、スコア別･技能別 TOEIC クラスの設置、語学学習用の個人ブースや防音個室ブースを完備した学習スペース「グローバルコモン」の設置、英語学習アドバイザーによる学習支援など、入学後も英語学習を強くバックアップする体制を整備しています。

海洋工学部

《海事システム工学科》

1. 入学者受入れ方針

海事システム工学科では、船舶運航技術および工学的技術に関心を持ち、専門的知識を含む幅広い教養、課題の発見・理解と解決に必要となる高度な技術、船舶運航に必須な多国籍の運航チームを形成できる国際性、協調性を卒業時までに修得することができる素養を有する人を求める。

2. 求める素養・能力

【幅広い視野・文化的素養】

大学での学修を通じて文化的素養を身に付けるために必要な基礎的能力を有していること。また、入学後に総合科目・専門導入科目の修得を通じ、幅広い視野を身に付け課題に取り組む意欲を有していること。

【コミュニケーション能力】

実験、実習、演習、卒業研究等への取組を通じて、幅広い情報収集や分析を行い、発信できるコミュニケーション能力を身に付ける意欲を有していること。

【専門的知識・問題解決能力】

専門導入科目、専門科目の履修を通じて、幅広い専門的知識を修得し、それらを活用して課題を発見・理解し、解決することに強い関心があること。

【実践的指導力・リーダーシップ】

実験、実習、演習、卒業研究等への取組を通じて、グローバル社会のリーダーとして求められる実践的指導力を身に付ける意欲を有していること。

【自ら判断・行動できる能力】

自ら課題に対して、論理的に考え、判断し、行動する能力を身に付ける意欲を有していること。

3. 入学者選抜の基本方針、評価方法

【入学者選抜の基本方針】

海事システム及び工学全般を理解できる基礎学力を有し、国際的な活躍のための能力を備えた工学分野に関心のある者を選抜する。

一般選抜（前期日程・後期日程）

大学入学共通テストでは幅広い分野の基礎的学力を評価する。教科・科目に係る個別テストでは前期日程では数学と英語を、後期日程では理科（物理）と英語を課して評価する。

海洋工学部では、言語能力を評価する国際指標であるCEFRを採用し、CEFR B1レベル以上の英語スコア取得を学部4年次への進級要件としています。

その支援のため、CEFR B1取得を目指すGLI演習の導入、TOEIC演習に特化した英語クラスの設置、海洋工学部が独自に開発した英語学習用eラーニング教材の提供、図書館（越中島キャンパス）に語学学習用の個人ブースや各種問題集･参考書の設置、英語学習アドバイザーによる学習支援など、入学後の英語学習を強くバックアップする体制を整備しています。

海洋工学部の海事システム工学科と海洋電子機械工学科には、船舶運航に関する実習があります。

《海洋電子機械工学科》

1. 入学者受入れ方針

海洋電子機械工学科では、船舶機関、機械工学、電気・電子工学、制御工学等の様々な工学的技術に関心を持ち、それらの知識を活かした技術者として、課題を発見・理解し、解決することができる能力を修得できる素養を有する人を求める。

2. 求める素養・能力

【幅広い視野・文化的素養】

大学での学修を通じて文化的素養を身に付けるために必要な基礎的能力を有していること。また、入学後に総合科目・専門導入科目の修得を通じ、幅広い視野を身に付け課題に取り組む意欲を有していること。

【コミュニケーション能力】

実験、実習、演習、卒業研究等への取組を通じて、幅広い情報収集や分析を行い、発信できるコミュニケーション能力を身に付ける意欲を有していること。

【専門的知識・問題解決能力】

専門導入科目、専門科目の履修を通じて、幅広い専門的知識を修得し、それらを活用して課題を発見・理解し、解決することに強い関心があること。

【実践的指導力・リーダーシップ】

実験、実習、演習、卒業研究等への取組を通じて、グローバル社会のリーダーとして求められる実践的指導力を身に付ける意欲を有していること。

【自ら判断・行動できる能力】

自ら課題に対して、論理的に考え、判断し、行動する能力を身に付ける意欲を有していること。

3. 入学者選抜の基本方針、評価方法

【入学者選抜の基本方針】

電子機械及び工学全般を理解できる基礎学力を有し、国際的な活躍のための能力を備えた工学分野に関心のある者を選抜する。

一般選抜（前期日程・後期日程）

大学入学共通テストでは幅広い分野の基礎的学力を評価する。教科・科目に係る個別テストでは前期日程では数学と英語を後期日程では理科（物理）と英語を課して評価する。

海洋工学部では、言語能力を評価する国際指標であるCEFRを採用し、CEFR B1レベル以上の英語スコア取得を学部4年次への進級要件としています。

その支援のため、CEFR B1取得を目指すGLI演習の導入、TOEIC演習に特化した英語クラスの設置、海洋工学部が独自に開発した英語学習用eラーニング教材の提供、図書館（越中島キャンパス）に語学学習用の個人ブースや各種問題集・参考書の設置、英語学習アドバイザーによる学習支援など、入学後の英語学習を強くバックアップする体制を整備しています。

海洋工学部の海事システム工学科と海洋電子機械工学科には、船舶運航に関する実習があります。

《流通情報工学科》

1. 入学者受入れ方針

流通情報工学科では、日本の衣食住を支える物流、物流を機能させる情報システム、環境対策を含むグローバルな経済活動に関する専門的知識と高度な技術力及び社会貢献力を卒業時までに修得することができる素養を有する人を求める。

2. 求める素養・能力

【幅広い視野・文化的素養】

大学での学修を通じて文化的素養を身に付けるために必要な基礎的能力を有していること。また、入学後に総合科目・専門導入科目の修得を通じ、幅広い視野を身に付け課題に取り組む意欲を有していること。

【コミュニケーション能力】

実験、実習、演習、卒業研究等への取組を通じて、幅広い情報収集や分析を行い、発信できるコミュニケーション能力を身に付ける意欲を有していること。

【専門的知識・問題解決能力】

専門導入科目、専門科目の履修を通じて、幅広い専門的知識を修得し、それらを活用して課題を発見・理解し、解決することに強い関心があること。

【実践的指導力・リーダーシップ】

実験、実習、演習、卒業研究等への取組を通じて、グローバル社会のリーダーとして求められる実践的指導力を身に付ける意欲を有していること。

【自ら判断・行動できる能力】

自ら課題に対して、論理的に考え、判断し、行動する能力を身に付ける意欲を有していること。

3. 入学者選抜の基本方針、評価方法

【入学者選抜の基本方針】

流通情報工学への関心を有し、教育を受けるために必要な水準を満たす者を選抜する。

一般選抜（前期日程・後期日程）

大学入学共通テストでは幅広い分野の基礎的学力を評価する。教科・科目に係る個別テストの前期日程で数学と英語を、後期日程で英語を課すことにより、数理的な素養や、国際的な活躍のための能力を評価する。

海洋工学部では、言語能力を評価する国際指標であるCEFRを採用し、CEFR B1レベル以上の英語スコア取得を学部4年次への進級要件としています。
その支援のため、CEFR B1取得を目指すGLI演習の導入、TOEIC演習に特化した英語クラスの設置、海洋工学部が独自に開発した英語学習用eラーニング教材の提供、図書館（越中島キャンパス）に語学学習用の個人ブースや各種問題集・参考書の設置、英語学習アドバイザーによる学習支援など、入学後の英語学習を強くバックアップする体制を整備しています。

海洋資源環境学部

《海洋環境科学科》

1．入学者受入れ方針

海洋における諸現象を観測・解析・予測する海洋学及び海洋生物と環境との相互作用を解析する海洋生物学を基礎として、これを海洋環境保全・修復の科学・技術へと発展させる海洋環境科学をカリキュラムポリシーに沿って教育・研究する。具体的には、海洋、海底の物理・化学・地質学的観測・探査、多様な海洋生物（微生物から鯨類まで）の調査・研究、海洋生物の保全と有用物質利用のためのバイオテクノロジーや生化学、海洋の諸現象や人間活動の影響のモデル化と予測、海洋環境の保全・修復の計画立案実行等の課題に取り組む。これらの課題に関心があり、ディプロマ・ポリシーにおいて掲げる専門的学識、豊かな国際性と幅広い教養、自ら考え判断する能力、および現場で通用する実践力を卒業時までに修得する意欲を有する人を求める。

2．求める素養・能力

【専門的学識を修得するための素養・能力】

自然科学の広範な教育を受けるために必要な素養と基礎学力、とりわけ数学と理科（少なくとも物理、化学または生物のうちいずれか２科目）の基礎学力を有していること（※）。また、海洋に関する広範な学問領域を学修し、新しい課題に取り組む積極的姿勢を有していること。

（※）数学については、数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B、数学C
物理については、物理基礎、物理
化学については、化学基礎、化学
生物については、生物基礎、生物

【自ら考え判断する能力を修得するための素養・能力】

海洋に関わる様々な問題に取り組むために必要な広範囲を見渡す姿勢を有していること。

【豊かな国際性と幅広い教養、現場で通用する実践力を修得するための素養・能力】

主体的に思考する姿勢、海洋観測や海洋利用などに関わる多様な人々と協働するために意思疎通し、異なる考え方や文化を理解・尊重する姿勢を有していること。また、グローバルに学修活動を行うための基礎的語学力を有していること。

3．入学者選抜の基本方針、評価方法

【入学者選抜の基本方針】

本学科での教育を受けるうえで必要な素養・能力を判定するために、以下の選抜を行う。

一般選抜（前期日程・後期日程）

一般選抜（前期日程）では、基礎学力を幅広く身につけている人を選抜するために、大学入学共通テスト及び教科・科目に係る個別テスト（数学・理科）の総合点で判定する。一般選抜（後期日程）では、基礎学力とともに、考えを論理的に展開し適切に表現する能力を身につけている人を選抜するために、大学入学共通テスト及び教科・科目に係る個別テスト（小論文）の総合点で判定する。

《海洋資源エネルギー学科》

1. 入学者受入れ方針

大気、海洋、海底に関する科学（環境科学の一部も含む）を基礎として、海洋環境を保全しながら資源や再生可能エネルギーを利用するための基礎工学及び海洋開発に関連する実践的な科学・技術を教育・研究する。具体的には、海洋・海底（エネルギー資源を含む）の探査や開発ならびにその環境影響、海洋自然エネルギー利用に関連する大気・海水流動の解析技術、エネルギー変換、海洋・生物生態調査、海上・海中・海底における諸活動を支える計測機器、移動体、構造物に関する運用・制御等の課題に取り組む。これらの課題に興味があり、ディプロマ・ポリシーにおいて掲げる専門的学識、自ら考え判断する能力、豊かな国際性と幅広い教養、および現場で通用する実践力を卒業時までに修得することができる素養・能力を有する人を求める。

2. 求める素養・能力

【専門的学識を修得するための素養・能力】

自然科学から工学の広範な教育を受けるために必要な素養と基礎学力、とりわけ数学と理科（少なくとも物理、化学または生物のうちいずれか１科目）の基礎学力を有していること（※）。また、海洋環境も含む海洋資源に関する広範な学問領域への学修意欲と、新しい課題に取り組む積極性を有していること。

（※）数学については、数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B、数学C
物理については、物理基礎、物理
化学については、化学基礎、化学
生物については、生物基礎、生物

【自ら考え判断する能力を修得するための素養・能力】

海洋環境も含む海洋資源に関わる様々な問題に取り組むための広い視野と、主体的な思考力を有していること。

【豊かな国際性と幅広い教養、現場で通用する実践力を修得するための素養・能力】

資源探査や海洋利用などに関わる多様な人々と協働するための意思疎通能力の基礎と、異なる考え方や文化を理解・尊重する姿勢を有していること。また、グローバルに活躍するための基礎的語学力と意欲を有していること。

3. 入学者選抜の基本方針、評価方法

【入学者選抜の基本方針】

本学科での教育を受けるうえで必要な素養・能力を判定するために、以下の選抜を行う。

一般選抜（前期日程・後期日程）

一般選抜（前期日程）では、基礎学力を幅広く身につけている人を選抜するために、大学入学共通テスト及び教科・科目に係る個別テスト（数学・理科）の総合点で判定する。一般選抜（後期日程）では、基礎学力とともに、考えを論理的に展開し適切に表現する能力を身につけている人を選抜するために、大学入学共通テスト及び教科・科目に係る個別テスト（小論文）の総合点で判定する。

海洋資源環境学部では、TOEIC L&R スコア 600 点取得を学部第 4 年次への進級要件としています。
その支援のため、TOEIC 学習専門の英語教員の配置、スコア別･技能別 TOEIC クラスの設置、語学学習用の個人ブースや防音個室ブースを完備した学習スペース｢グローバルコモン｣の設置、英語学習アドバイザーによる学習支援など、入学後も英語学習を強くバックアップする体制を整備しています。

1. 募集学部･学科及び募集人員総表

令和９年度入学者選抜については、一般選抜は分離分割方式（前期日程、後期日程）で行います。

また、総合型選抜は、全学部で行います。学校推薦型選抜は、海洋生命科学部、海洋資源環境学部で行います。私費外国人留学生特別入試は、全学部で行います。

各入学者選抜の募集人員は以下のとおりです。

学部	学科	入学定員	募集人員										
			一般選抜		総合型選抜						学校推薦型選抜		私費外国人留学生
			前期日程	後期日程	A（一般）	B（専門学科・総合学科卒業生）	C-Ⅰ型（帰国生徒）	C-Ⅱ型（留学経験者）	D（商船教員養成コース）	E（社会人）	A（一般）	B（専門学科・総合学科卒業生）	
海洋生命科学部	海洋生物資源学科	68	42	18	8	－	若干名	若干名	－	若干名	－	若干名	若干名
	〈水産教員養成課程〉	③	③	－	若干名	－	－	－		－		若干名	
	食品生産科学科	55	30	14	－	－	若干名	若干名	－	若干名	10	1	若干名
	〈水産教員養成課程〉	③	②	－			－	－		－	－	①	
	海洋政策文化学科	40	21	12	5	若干名	若干名	若干名	－	若干名	2	－	若干名
	〈水産教員養成課程〉	①	①	－	－	－	－	－		－	－		
	小計	170 (163+⑦)	93⑥	44	13	若干名	若干名	若干名	－	若干名	12	1①	若干名
海洋工学部	海事システム工学科	59	36	14	7	2	若干名	－	－	若干名	－	－	若干名
	海洋電子機械工学科	59	34	14	6	3	若干名	－	2	若干名	－	－	若干名
	流通情報工学科	42	20	14	7	1	若干名	－	－	若干名	－	－	若干名
	小計	160	90	42	20	6	若干名	－	2	若干名	－	－	若干名
海洋資源環境学部	海洋環境科学科	62	37※	14※	－	－	若干名	若干名	－	若干名	11	若干名	若干名
	海洋資源エネルギー学科	43	27※	11※	－	－	若干名	若干名	－	若干名	5	若干名	若干名
	小計	105	64	25	－	－	若干名	若干名	－	若干名	16	若干名	若干名
合計		435 (428+⑦)	247⑥	111	33	6	若干名	若干名	2	若干名	28	1①	若干名

※　海洋生命科学部及び海洋工学部の一般選抜は、第１志望学科のみ志願することができます。

海洋資源環境学部の一般選抜は、前期日程･後期日程とも海洋資源環境学部の２学科間で、第２志望を認めます。

（注 1）総合型選抜 A は一般、総合型選抜 B は専門学科･総合学科卒業生、総合型選抜 E は社会人をそれぞれ対象とした選抜です。

（注 2）総合型選抜 C－Ⅰは帰国生徒を対象とした選抜です。

（注 3）総合型選抜 C－Ⅱは日本の高等学校在籍中に 1 年（School Year）以上の海外留学経験を有する者を対象とした選抜です。

（注 4）総合型選抜 D（商船教員養成コース）は水産･海洋系高等学校、または水産･海洋系の学科あるいはコースを持つ高等学校の教員を養成するコースです。

（注 5）学校推薦型選抜 A は公募制の選抜です。学校推薦型選抜 B は専門学科･総合学科卒業生（水産･海洋系）を対象とした公募制の選抜です。

（注 6）海洋生命科学部の入学定員小計 170 人には、水産教員養成課程の 7 人を含みます。○印の数は、水産教員養成課程募集人員で外数です。○印のつかない一般と区別します。

（注 7）海洋生命科学部海洋生物資源学科の前期日程の水産教員養成課程募集人員には、総合型選抜 A、学校推薦型選抜 B の水産教員養成課程募集人員を含みます。

（注 8）海洋生命科学部の前期日程の募集人員には、総合型選抜 B、総合型選抜 C－Ⅰ、総合型選抜 C－Ⅱ、総合型選抜 E、学校推薦型選抜 B（海洋生物資源学科）の募集人員を含みます。

（注 9）海洋生命科学部の総合型選抜 A、学校推薦型選抜 A、学校推薦型選抜 B（食品生産科学科）の合格者が募集人員に満たない場合は、その数を一般選抜前期日程の募集人員に加えて募集します。

（注 10）海洋工学部の前期日程の募集人員には、総合型選抜 C－Ⅰ、総合型選抜 E の募集人員を含みます。

（注 11）海洋工学部の総合型選抜 A、総合型選抜 B、総合型選抜 D の合格者が募集人員に満たない場合は、その数を一般選抜前期日程の募集人員に加えて募集します。

（注 12）海洋資源環境学部の前期日程の募集人員には、総合型選抜 C－Ⅰ、総合型選抜 C－Ⅱ、総合型選抜 E、学校推薦型選抜 B の募集人員を含みます。

（注 13）海洋資源環境学部の学校推薦型選抜 A の合格者が募集人員に満たない場合は、その数を一般選抜前期日程の募集人員に加えて募集します。

「水産教員養成課程」（海洋生命科学部）について

・全国の水産･海洋系高校で教員として仕事ができる免許状取得者を計画的に養成している課程です。
・長い歴史と伝統を持つ我が国で唯一の水産教員の養成課程であり、これまでたくさんの卒業生を全国各地の水産教育の現場に輩出してきた実績のあるコースです。
・所属学科の専門教育プログラム（学士課程）に加えて、水産教員養成課程のプログラム（教職課程）を習得することにより、2つの専門性を有した職業人教育を目的としたコースです。
・希望によって、高等学校（理科）の免許状の取得も可能であり、将来の選択肢をさらに広げることが可能です。
・入学定員は7名（内訳:海洋生物資源学科3名、食品生産科学科3名、海洋政策文化学科1名）です。

●水産の教職免許状が取得しやすい？

・学部を卒業するために必要な単位数（133単位）に水産の教育職員免許状（以下「教職免許状」）を取得するために必要な科目の単位が含まれているため、水産教員養成課程で入学する学生はこの課程以外（以下「一般」）の学生に比べて、水産の教職免許状を取得しやすくなっています。

なお、一般の学生が水産の教職免許状を取得する場合、学部を卒業するために必要な単位（124単位）とは別に水産の教職免許状を取得するために必要な科目の単位（23 単位）を取得する必要があります。

●将来の選択肢を広げたい方におすすめの理由とは？

・例年、全国の水産･海洋系高校から求人の問い合わせが寄せられており、水産･海洋系高校の教員を進路の選択肢の一つとして考える学生にとって、魅力的な課程です。
・本課程は水産の教職免許状取得を目的（卒業の要件）としていますが、本学の大学院や海洋科学専攻科への進学、一般企業や公務員への就職などの多様な進路選択が可能です（就職や進学については一般の学生と同様、ご自身の希望で様々な選択が可能です）。
・教職免許状には有効期限がありませんので、一度、一般企業等で活躍し、将来的に地元や愛着のある地域で教員として仕事をしてみたいと考える方にもおすすめです（なお、公立学校の教員採用試験の年齢制限は自治体によって異なりますのでご注意ください）。

●「水産教員養成課程」の募集は、どのような選抜区分でおこなっているか？

1.一般選抜（前期日程）：　海洋生物資源学科 3名、食品生産科学科 2名、海洋政策文化学科 1名
2.総合型選抜A（一般）：　海洋生物資源学科 若干名
3.学校推薦型選抜B（専門学科･総合学科卒業生）：　海洋生物資源学科若干名、食品生産科学科 1名

※　海洋生物資源学科の一般選抜（前期日程）の募集人員には、総合型選抜A、学校推薦型選抜Bの募集人員を含みます。

●「水産教員養成課程」の選考方法は？

出願の際に水産教員養成課程を志願した場合、はじめに水産教員養成課程の志願者として選考を行い、合格者を決定します。この時点で不合格となった場合でも、あらためて一般の志願者と同等の基準で選考を行っています。

●教職免許状の発行申請が容易？

本学では、教職免許状の資格要件を満たす学生が4年次の4月に一括事前申請の希望届を提出し、所定の申請手数料を納付した学生に対して、一括して東京都教育委員会に教職免許状の発行申請をしています。この場合、学生は卒業と同時に教職免許状の授与を受けることができます。（一括事前申請をしない場合、卒業後に個人で居住地、又は就職先の学校のある都道府県教育委員会に直接申請を行う必要があります。）

令和９年度東京海洋大学入学者選抜方法等
（一般選抜）

学部･日程･学科名 ＼ 選抜方法等			教科・科目に係る個別テスト等								教科・科目に係る個別テスト等の日程	備考（欠員の補充の方法等）
				実技検査等				2段階選抜				
			教科・科目に係る個別テストを課する	実技検査を課する	面接を行う	小論文を課する	外国語においてリスニングテストを課する	主として、調査書の内容と大学入学共通テストの成績により第1段階選抜を行い、その合格者について更に必要な検査等を行う	第1段階の選抜による合格者数			
									定員に対する倍率	その他		
海洋生命科学部	前期日程	海洋生物資源学科	○	×	×	×	×	×	×	×	2月25日	追加合格
		食品生産科学科	○	×	×	×	×	×	×	×		
		海洋政策文化学科	○	×	×	○	×	×	×	×		
	後期日程	海洋生物資源学科	×	×	×	○	×	×	×	×	3月12日	
		食品生産科学科	×	×	×	○	×	×	×	×		
		海洋政策文化学科	×	×	×	○	×	×	×	×		
海洋工学部	前期日程	海事システム工学科	○	×	×	×	×	×	×	×	2月25日	
		海洋電子機械工学科	○	×	×	×	×	×	×	×		
		流通情報工学科	○	×	×	×	×	×	×	×		
	後期日程	海事システム工学科	○	×	×	×	×	×	×	×	3月12日	
		海洋電子機械工学科	○	×	×	×	×	×	×	×		
		流通情報工学科	○	×	×	×	×	×	×	×		
海洋資源環境学部	前期日程	海洋環境科学科	○	×	×	×	×	×	×	×	2月25日	
		海洋資源エネルギー学科	○	×	×	×	×	×	×	×		
	後期日程	海洋環境科学科	×	×	×	○	×	×	×	×	3月12日	
		海洋資源エネルギー学科	×	×	×	○	×	×	×	×		

（注）追加合格によってもなお欠員が生じた場合は、欠員補充第２次募集を行うことがあります。

※ 海洋資源環境学部の一般選抜は、前期日程･後期日程とも海洋資源環境学部の2学科間で、第2志望を認めます。海洋資源環境学部の全受験者を合計得点順に並べ、その上位者から出願時の志望に応じて順次、合格者を決定します。

2. 入試実施方式及び募集方法

(1)　一般選抜は、入学定員を分離･分割方式の「前期日程」と「後期日程」に分けて募集し、試験日程ごとに合格者を決定します。

(2)　国公立大学･学部（※独自日程で入学者選抜を行う公立大学･学部を除く。以下同じ。）を志願する者は、「前期日程」から 1 つ、「後期日程」から 1 つ、公立大学の「中期日程」から 1 つの合計 3 つに出願できます。ただし、2 つの大学に出願する場合は、「前期-前期」、「後期-後期」、「中期-中期」の併願はできません。

※　公立大学協会ホームページ（https://www.kodaikyo.org/?cat=26）参照

(3)　本学の前期日程の各学部･学科と後期日程の各学部･学科との学内併願は、すべて可能です。
しかし、本学の前期日程に出願する者は、他の国公立大学･学部の前期日程に出願することはできません。また、本学の後期日程に出願する者は、他の国公立大学･学部の後期日程に出願することはできません。

(4)　本学を含む国公立大学･学部の学校推薦型選抜及び総合型選抜の合格者は、当該大学の定める入学辞退手続により入学の辞退を許可された場合を除いて、本学の一般選抜を受験しても合格者とはなりません。

(5)　本学を含む国公立大学前期日程試験に合格し、入学手続を行った者は、本学後期日程試験を受験してもその合格者とはなりません。

3. 出願資格

入学を志願することのできる者は、令和 9 年度大学入学共通テストの本学が指定した教科･科目（7. 選抜方法参照）を受験した者で、次の各号のいずれか一つに該当する者とする。

(1)　高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び 2027 年 3 月卒業見込みの者

(2)　通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者及び 2027 年 3 月修了見込みの者

(3)　学校教育法施行規則（昭和 22 年文部省令第 11 号）第 150 条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び 2027 年 3 月 31 日までにこれに該当する見込みの者

※ 上記（3）に該当する者は次のとおりである。（詳細については、本学入試課まで問い合わせること。）

① 外国において、学校教育における 12 年の課程を修了した者及び 2027 年 3 月 31 日までに修了見込みの者、又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの（昭和 56 年文部省告示第 153 号）

② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び 2027 年 3 月 31 日までに修了見込みの者

③ 専修学校の高等課程（修業年限が 3 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者（平成 17 年文部科学省告示第 137 号）及び 2027 年 3 月 31 日までに修了見込みの者

④ 文部科学大臣の指定した者（昭和 23 年文部省告示第 47 号）

⑤ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成 17 年文部科学省令第 1 号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（従前の大学入学資格検定の合格者を含む。）及び 2027 年 3 月 31 日までに合格見込みの者で、2027 年 3 月 31 日までに 18 歳に達する者

⑥ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2027 年 3 月 31 日までに 18 歳に達する者

※　上記出願資格⑥に該当する者は、本学ホームページに掲載している「個別入学資格審査」を参照し、申請すること。

4. 出願手続

一般選抜の出願は、インターネット出願サイトで受け付けます。

大学入学共通テスト成績請求情報の提供手続について 本学では「Web 方式」による手続を行います。大学入学共通テスト出願サイトのマイページから「申込番号」を確認のうえ、インターネット出願サイトにて「申込番号」の入力を行ってください。

(1) 出願に関する注意事項

1) 出願登録には事前にインターネット出願サイトでマイページの登録が必要です。

2) マイページの登録及び出願登録を行っただけでは、出願手続き完了になりません。出願登録後、検定料を支払い、必要書類を郵送して完了となります。

3) インターネット出願登録完了後に、その日を含む 4 日以内に検定料の支払手続きが行われなかった場合は、出願登録したデータはキャンセルとなりますので注意してください。

4) インターネット出願登録完了後は、登録内容の修正及び変更はできませんので、誤入力のないように注意してください。ただし、検定料支払いの前に誤りに気付いた場合は検定料を支払わずに、もう一度新たに最初から登録をやり直してください。(誤った登録データは、支払い期間中に検定料が支払われなければ、そのままキャンセルとなります。)

5) 前期日程･後期日程ともに本学に出願する場合は、それぞれに出願登録、検定料の支払い、封筒の準備、必要書類の印刷及び郵送を行ってください。

6) 出願完了後は、提出した出願書類の変更は認めません。

7) 出願登録及び出願書類の内容と相違する事実が判明した場合は、受験を許可しないことがあります。また、合格発表後又は入学後であっても、合格又は入学を取り消すことがあります。

8) インターネット出願サイトの操作方法･検定料支払い方法については以下に問い合わせてください。
「学び･教育」出願･申込サービスサポートセンター
電話 0120-202-079（出願期間中 24 時間対応）

インターネット出願システムのログインについて 出願登録、検定料支払、必要書類印刷、受験票印刷等でインターネット出願システムへのログインが必要になります。ログインは、出願サイトからログイン画面にアクセスして、マイページ登録時に入力した「メールアドレス」及び「パスワード」を入力してください。 なお、前期日程･後期日程ともに本学に出願する志願者は、前期日程･後期日程それぞれの「受付番号」が発行されますので、それぞれにつきログインしてください。

(2) インターネット出願にあたっての事前準備

1) パソコン等の動作環境

インターネット出願は、以下の環境で行ってください。

〈ブラウザ〉

・Microsoft Edge 最新版
・Google Chrome 最新版
・Mozilla Firefox 最新版
・Apple Safari 最新版

ブラウザのタブ機能を使用して複数のタブで同時に申込操作を行うと、選択した内容が他のタブに引き継がれてしまう不具合が発生する場合があります。複数のタブでの同時操作はしないでください。

スマートフォンやタブレット等のモバイル端末は、閲覧等可能ですが推奨環境ではありませんので、一部の端末からは画面が正常に表示されない場合があります。また、印刷するための印刷機能を必要としますので、パソコンからの利用を推奨します。

※ 最新版はそれぞれのブラウザを立ち上げて以下の URL にアクセスして確認してください。

･Microsoft Edge ⇒ edge://settings/help

・Google Chrome ⇒ https://www.google.com/intl/ja/chrome/update/
・Mozilla Firefox ⇒ https://support.mozilla.org/ja/kb/find-what-version-firefox-you-are-using

2) プリンター、用紙等の用意

様式類はA4サイズ普通紙に印刷する必要がありますので、プリンター及び印刷用紙（普通紙、PPC用紙、OA用紙、コピー用紙等）を用意してください。印刷条件に適合していれば、公共施設やコンビニエンスストアの印刷サービスを利用して印刷しても構いませんが、個人情報の取り扱いには十分注意してください。

3) メールアドレスの用意及びメールの受信設定

出願申込時や支払いの際にメールを送付します。メールアドレスが必要となりますので、事前にメールアドレスを用意してください。スマートフォン、携帯電話等のメールアドレスも利用可能です。なお、ドメイン指定受信を設定されている方は、次のドメインからのメールを受信できるように設定を追加してください。一度登録したメールアドレスは変更できません。

@e-apply.jp
@o.kaiyodai.ac.jp

4) 本人写真データの用意

写真は本人確認に利用しますので、出願前3か月以内に撮影した正面、上半身、脱帽、背景無しの写真データ（jpeg、jpg、png、bmp形式のいずれか、10MBまで）を用意してください。

以下の写真は使用できません。写真データが出願写真として適切でないと判断された場合には、再提出となることがあります。

不鮮明、背景が暗い、顔が横向き、複数名で写っている、画像に加工を施している、現像された写真を再撮影している等

5) その他の必要書類

出身学校等が発行する「調査書」等、インターネット出願システムから印刷する様式以外の書類を出願期間に間に合うようにあらかじめ用意してください。

※ 事前に大学入学共通テスト出願サイトのマイページから「申込番号」の確認をお願いいたします。

6) 角形2号封筒の用意

必要書類提出のため、市販の角形2号封筒（240mm×332mm）を用意してください。

前期日程・後期日程とも本学に出願する場合は、前期日程及び後期日程それぞれにつき1枚ずつ用意してください。

(3) インターネット出願登録

1) インターネット出願サイトにアクセス

本学ホームページ（https://www.kaiyodai.ac.jp/）から、インターネット出願サイトにアクセスし、トップページにある「マイページ登録」にて、個人情報の登録等を行った後、出願登録を行ってください。

すでにマイページの登録が済んでいる方は、「ログイン」から登録した「メールアドレス」及び「パスワード」を入力し、出願登録を行ってください。

2) 出願登録

入力画面に沿って、志願学部・学科、志願者情報、出願資格情報、顔写真データ等を登録してください。

※ 志願者連絡先の「電話番号」は、追加合格の連絡等の緊急連絡時に使用しますので、志願者本人と確実に連絡が取れる番号を入力してください。

※ 顔写真データのアップロードもここで行います。画面上で写真サイズを切り取り（トリミング）することもできます。

※ 大学入学共通テスト成績請求情報の提供手続は、「Web方式」で行います。大学入学共通テスト出願サイトのマイページから取得した「申込番号」をここで登録してください。

3) 出願内容確認

入力が完了すると、入学志願票（サンプル）のボタンが表示されます。内容をよく確認して、誤りがなければ、「この内容で登録する」をクリックしてください。

4）登録完了

画面に「受付番号」が表示されたら入力は完了です。「引き続き支払う」に進んでください。登録したメールアドレス宛に、「出願受付 支払手続き案内」メールが届きます。メールに記載されている受付番号は、出願内容の確認、検定料の支払い、出願に必要な書類の印刷等に用いますので入試終了まで大切に保管してください。

※ 「受付番号」は受験番号ではありません。受験番号は出願期間終了後に発行される「受験票」に記載されます。

(4) 検定料の支払い

1）支払い方法

検定料の支払いは、「（3）インターネット出願登録」の完了後に行います。出願登録完了後に、以下のいずれかの方法で支払い手続きに進んでください。

① 出願登録完了画面から「引き続き支払う」をクリックする。

②「出願受付 支払手続き案内」メールに表示されている URL から支払ページに進む。

③ 出願サイトからマイページにログインして、「お支払い」をクリックする。支払い方法を選択して、支払期間内に検定料の支払手続きを行ってください。

検定料	支払期間
17,000 円	2027 年 1 月 22 日（金）10:00～2 月 3 日（水）16:00 上記期間内で、インターネット出願登録を完了した日を含む 4 日以内に支払ってください。 ただし、インターネット出願登録を完了した 4 日に満たず支払期間最終日 16 時になった場合は、上記の支払期間が優先され、以降の支払いは出来ませんのでご注意ください。

支払方法	取扱機関等
クレジットカード （出願登録に引き続き支払完了）	VISA/MasterCard/JCB/AMERICANEXPRESS/ MUFG カード/DC カード/UFJ カード/NICOS カード
ネットバンキング （インターネットで手続き完了）	ペイジー対応ネットバンキング/PayPay 銀行（旧ジャパンネット銀行/楽天銀行/住信 SBI ネット銀行/au じぶん銀行
コンビニエンスストア （各コンビニ端末画面の表示に従って、必要情報を入力し支払う）	セブン-イレブン/ローソン、ミニストップ（Loppi）/ ファミリーマート（マルチコピー機）/デイリーヤマザキ/ セイコーマート
郵便局･銀行 ATM （ATM の画面表示に従って必要情報を入力し支払う）	ペイジー対応銀行 ATM（ゆうちょ銀行含む）

2）検定料支払いに関する注意事項

① 検定料支払いを完了しても、まだ出願手続きは完了していません。引き続き、出願に必要な書類の印刷及び提出を期間内に行ってください。なお、インターネット出願サイトからの必要書類の印刷は、検定料支払い前には出来ません。

② 支払手続きに関する詳細･注意点等は、出願サイトのトップページ「支払い方法」も併せて参照してください。

③ 支払期間内に検定料の支払い手続きが行われなかった場合は、出願登録したデータはキャンセルとなりますのでご注意ください。

④ クレジットカード決済で支払う際のカード名義人は、志願者本人ではなくても構いません。

⑤ 検定料支払いには、別途手数料がかかります。手数料は支払人負担となります。手数料の額は、支払手続き画面に表示されます。

3）検定料の返還について

払込済みの検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。

① 検定料を払い込んだが、出願書類を提出しなかった場合又は出願が受理されなかった場合

② 誤って検定料を二重に払い込んだ場合

③ 出願受付後に出願無資格者であることが判明した場合

なお、上記①又は②に該当する場合は、東京海洋大学入試課まで連絡してください。当該者には、後日、本学が別に定める返還額を返還します。また、③に該当する場合は、請求に基づき、13,000 円を返還します。

(5) 出願期間

マイページ登録	出願登録には事前にマイページの登録が必要となります。 （すでに登録済みの方は、登録済みのアカウントをご利用ください。）	
インターネット出願登録期間	インターネット出願システムから、マイページへログインした後、「出願手続きを行う」をクリックし、必要事項を入力、登録してください。	2027 年 1 月 22 日（金）10:00 ～2 月 3 日（水）16:00
検定料支払い期間	インターネット出願システムの指示に従って、検定料をお支払いください。	2027 年 1 月 22 日（金）10:00 ～2 月 3 日（水）16:00
出願に必要な書類の提出期間	インターネット出願システムから必要書類等を印刷し、他のすべての必要書類とともに本学に郵送してください。	2027 年 1 月 25 日（月） ～2 月 3 日（水）17:00 **郵送必着**

1）インターネット出願サイトでの入力･登録期限及び検定料の支払期間に関わらず、郵便事情等を十分考慮の上、ゆとりを持って発送できるよう留意してください。

2）インターネット出願は、マイページ登録、出願システムでの出願登録、検定料の支払いだけでは、出願は完了しません。出願に必要な書類を出願期間内に郵送で大学へ提出することにより、出願が完了します。自宅にインターネット利用や印刷の環境がない場合は、学校に相談しパソコン等を利用したり、公共図書館のインターネットサービスを利用したりして対応してください。上記によってもインターネット出願の利用が難しい場合は、東京海洋大学入試課に相談してください。

(6) 出願に必要な書類の送付

出願に必要な書類の提出は「書留速達郵便」で送付してください。郵送のみの受け付けで、大学に直接持参しても受け付けません。

送付先 〒108-8477 東京都港区港南 4-5-7 東京海洋大学入試課

郵便局から受領した「書留･配達記録郵便物等受領証」（お客様控）は必ず保管してください。この受領証により、出願書類が届いたか確認することができます。詳細は日本郵便ホームページ郵便追跡サービスで確認してください。（https://trackings.post.japanpost.jp/services/srv/search/）

なお、出願書類の到着有無に関する問い合わせには一切応じません。

本学所定の様式は、募集要項が掲載されているページの下部にあります。

出願書類等		摘　　要
①	入学志願票	インターネット出願システムからA4サイズでカラー印刷してください。 検定料17,000円は、コンビニエンスストア、クレジットカード、郵便局･銀行ATM、ネットバンキングのいずれかで支払ってください。支払方法の詳細は、「4.出願手続-（4）検定料の支払い」を参照してください。
②	調査書（厳封したもの）	文部科学省所定の様式により出身学校長が作成した新様式による調査書。 なお、外国において学校教育における 12 年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者、国際バカロレア資格取得者、アビトゥア資格取得者、バカロレア資格（フランス共和国）取得者、ジェネラル･サーティフィケート･オブ･エデュケーション･アドバンスト･レベル資格（グレート･ブリテン及び北部アイルランド連合王国）取得者、インターナショナル A レベル資格取得者、ヨーロピアン・バカロレア資格取得者、文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科を修了した者及び高等学校卒業程度認定試験合格者については、当該試験等の成績証明書等が調査書の代わりになります。 また、卒業から年月が経過したためなどの理由で調査書が作成できない場合、出身学校が作成する「調査書が発行されない理由書」及び「成績証明書」を送付ください。
③	成績証明書(厳封したもの) 高等学校卒業程度認定試験合格成績証明書	該当者のみ提出（②調査書を参照）してください。 高等学校卒業程度認定試験合格者は合格成績証明書（合格証明書は不要）を提出。ただし、高等学校等において科目を修得したことにより高等学校卒業程度認定試験の受験科目を免除された場合は、免除された科目の高等学校等の成績証明書又は調査書を併せて提出してください。既卒者は卒業後に発行されたものを提出してください。
④	令和9年度大学入学共通テスト受験票のコピー	令和9年度大学入学共通テスト受験票のコピー（A4サイズ）を提出してください。
⑤	住民票の写し （該当者のみ）	日本に居住する外国人の志願者は、居住地の市区町村長の発行する住民票の写しを提出してください。
⑥	資格･業績書 （海洋政策文化学科志願者のみ）	海洋生命科学部海洋政策文化学科に出願する者は、ホームページに掲載の本学所定の様式に、黒のペン又はボールペン（インクが消せるものは不可）で本人が記入してください。資格･業績を証明する資料を添付してください。 なお、該当する資格・業績が無い場合、提出は不要となります。
⑦	確認書 （海洋工学部海事システム工学科、海洋電子機械工学科のみ）	海洋工学部海事システム工学科及び海洋電子機械工学科に出願する者は、ホームページに掲載の本学所定の様式に、黒のペン又はボールペン（インクが消せるものは不可）で記入してください。 （様式は本学ホームページからダウンロードしてください）

⑧	活動報告書 （該当者のみ）	・高等学校又は中等教育学校を令和4（2022）年3月以前に卒業した志願者 ・外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者、国際バカロレア資格取得者、アビトゥア資格取得者、バカロレア資格（フランス共和国）取得者、ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格（グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国）、インターナショナル A レベル資格、ヨーロピアン・バカロレア資格の取得者 ・文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科を修了した者 ・高等学校卒業程度認定試験合格者 上記に該当する者については、ホームページに掲載の本学所定の様式に、黒のペン又はボールペン（インクが消せるものは不可）で本人が記入してください。
⑨	入学願書送付用封筒	角形2号封筒（240mm×332mm）を各自で用意し、出願に必要な書類を全て封入し⑩の出願書類提出用宛名シートを貼付して「書留速達郵便」で郵送してください。 前期日程・後期日程ともに本学に出願する場合は、それぞれにつき1枚ずつ封筒を用意し、必要書類を提出してください。
⑩	出願書類提出用宛名シート	インターネット出願サイトから A4 サイズで印刷してください。（入学志願票を印刷すると、自動で同時印刷されます。） ⑨の角形2号封筒の表面に剥がれないように貼付してください。また、本学に併願する者は、封入された書類の日程（前期・後期）と、宛名シート表示面の日程が合致していることを確認してください。

(7) 出願上の注意点

1) 提出された書類等に不備がある場合には、受理しません。また、受理後の出願書類等の変更は認めません。

2) いったん受理した出願書類等は、いかなる理由があっても返却しません。

3) 入学志願票及び出願書類等に虚偽の記載をした場合、記載すべき事項を記載しなかった場合又は提出すべき書類を提出しなかったことが判明した場合は、出願書類等の受理後でも無資格者とし、さらに入学決定後でも入学許可を取り消すことがあります。

4) 前期日程試験・後期日程試験を併願する場合は、調査書等の重複する書類もそれぞれの日程ごとに提出してください。

5) 現在、他大学等に在籍している者は、合格後の入学手続時に当該大学等の「退学証明書」を提出することになります。

6) 大学入学共通テストにおいて本学が指定する教科・科目を受験していない者（指定された教科・科目を第1解答科目として受験していない者も含む。）については、出願無資格者となり本学の教科・科目に係る個別テストを受験することはできません。出願無資格者に該当する場合には、受験できない旨の通知をします（2027年2月4日（木）以降）。

7) インターネット出願サイトでの入力・登録期限及び検定料の支払期間にかかわらず、郵便事情等を十分考慮の上、ゆとりを持って登録・発送できるよう留意してください。

(8) 受験票の印刷

1) 大学から受験票の発送は行いません。受験票は印刷可能期間内にインターネット出願システムにログインして、各自で印刷してください。なお、**受験票の印刷が可能になったら、メールで通知が届きます**。

受験票の印刷期間	2027 年 2 月 12 日（金） 以降

2) 受験票に関する注意事項

① 受験票を印刷後、記載内容を必ず確認してください。出願登録した内容と異なっている場合は、東京海洋大学入試課に連絡してください。

② インターネット出願登録した際の受付番号は、受験番号ではありません。受付番号での受験はできませんので、必ず受験票を持参してください。

③ スマートフォン等での画面表示による受験票の提示は認めません。必ず印刷した受験票を持参してください。

④ 本学に併願した志願者は、前期日程と後期日程の受験票を間違えないように持参してください。

インターネット出願では、インターネット出願システムでの出願登録、検定料の支払いだけでは、出願は完了しません。出願に必要な書類が出願期間内に本学へ到着して、出願が受理されます。 ご家庭にインターネット利用や印刷の環境がない場合は、学校に相談しパソコン等を利用する、または公共図書館のインターネットサービスを利用する等の対応により、出願してください。 以上の対応によってもインターネット出願の利用が難しい場合は、東京海洋大学入試課に相談してください。

5.健康診断について

(1) 船舶実習の履修、コース選択について

海洋工学部海事システム工学科及び海洋電子機械工学科は授業科目に船舶実習の必修科目があり、次に記載の健康診断基準を満たしていない場合、必修科目「船舶実習Ⅰ」、「船舶実習Ⅱ（海洋電子機械工学科機関システム工学コース）」の履修に制約や、海洋電子機械工学科では3年次コース選択に制約が生じることがあります。

(2) 乗船実習科への進学について

海洋工学部海事システム工学科及び海洋電子機械工学科（機関システム工学コース）卒業後、海技免許の取得を希望する者は、乗船実習科（6か月の課程）を修了する必要があります。乗船実習科へ進学を希望する者は、出願前に専門医を受診し、色覚に関する検査を含め、次に記載の健康診断基準を満たしていることを確認しておいてください。

【健康診断基準】

項目	海事システム工学科（航海士）	海洋電子機械工学科（機関士）
視　力	視力（矯正視力を含む）が両眼共に0.5以上であること。	視力（矯正視力を含む）が両眼で0.4以上であること。
色　覚	船舶職員としての職務に支障をきたすおそれのある色覚の異常がないこと。	
	基準:以下の色覚検査に合格すること。 石原色覚検査表（国際版38表）及びパネルD-15を使用し、少なくともパネルD-15を用いた検査に合格すること。	基準:以下の色覚検査に合格すること。 石原色覚検査表（国際版38表）及びパネルD-15を使用し、少なくともパネルD-15を用いた検査に合格するか、いずれも不合格の場合には、船員法指定医療機関（国土交通省海事局・各地方運輸局にお問合せください。）における特定船員色識別適性確認表を用いた検査に合格すること。
聴　力	5メートル以上の距離で話声語を弁別できること。	
握　力	男子の握力は、左右共に25キログラム以上、女子の握力は左右共に17キログラム以上であること。	
疾病及び身体機能の障害の有無	心臓疾患、視覚機能の障害、精神の機能の障害、言語機能の障害、運動機能の障害、その他の疾病又は身体機能の障害により船舶職員としての職務に支障をきたさないと認められること。 （海技免許の取得・更新のためには、上記の障害により「船舶職員としての職務に支障をきたさないと認められること」が求められます。）	

（注）この健康診断基準は、「船舶職員及び小型船舶操縦者法施行規則」別表第三に規定された海技士身体検査基準表及び「船員法施行規則」第二号表に従っています。（※法改正に伴い変更の可能性があります）

※　参考 船員法施行規則第二号表

健康検査合格標準表

（国土交通省ウェブサイト、https://www.mlit.go.jp/maritime/content/001599342.pdf）

海技免許取得要件及び健康検査合格標準表の最新の情報については、国土交通省海事局･各地方運輸局へお問い合わせください。疾病等で不明な点については、出願までに入試課入試第一係へ問い合わせてください。

(3) 海洋科学専攻科への進学について

海洋生命科学部･海洋資源環境学部に入学し卒業後に、船舶職員となることを志望し、海洋科学専攻（船舶の運航に関して学ぶ 1 年の課程）に進学し、国家資格である海技免許を取得するには次の[身体検査基準]を満たす必要があります。ただし、海洋科学専攻科進学に際しての身体検査基準はありません。

[身体検査基準]

検査項目	身体検査基準
視 力 （5 メートルの距離で万国視力表による）	視力（矯正視力を含む）が両眼共に 0.5 以上であること
色 覚	船舶職員としての職務に支障をきたすおそれのある色覚の異常がないこと
聴 力	5 メートル以上の距離で話声語を弁別できること
疾病及び身体機能の障害の有無	心臓疾患、視覚機能の障害、精神の機能の障害、言語機能の障害、運動機能の障害、その他の疾病又は身体機能の障害により船舶職員としての職務に支障をきたさないと認められること

（船舶職員及び小型船舶操縦者法施行規則別表第三準拠）

6. 障害等のある入学志願者との事前相談について

東京海洋大学では、授業科目に船舶実習等の実習科目があり、健康状態によってはそれらの実習科目の履修に制約が生じることがあります。その結果、資格取得の制約となることがありますので、障害等があって、受験上及び修学上の配慮を必要とする場合は、出願に先立ち、あらかじめ本学と相談してください。

(1) 相談の時期：2026 年 12 月 16 日（水）まで

(2) 相談の方法

ホームページ掲載の「入学試験受験上の配慮申請書」に医師の診断書等必要書類を添付して提出してください。必要な場合は、本学において志願者又はその立場を代弁できる出身学校関係者等との面談等を行います。

※ 大学入試センターから「受験上の配慮事項審査結果通知書」（写）がまだ届いていない場合は、届き次第送付してください。

〈連絡先〉〒108 - 8477 東京都港区港南 4-5-7

東京海洋大学入試課 TEL 03-5463-0510

本学ホームページに「入学試験受験上の配慮申請書」の様式を記載していますので利用してください。（TOP ページ→大学で学びたい方 or 入試情報→学部入試→障害等のある入学志願者との事前相談について）

7. 選抜方法

海洋生命科学部

募集学科及び募集人員

学 科	募 集 人 員	
	前 期 日 程	後 期 日 程
海洋生物資源学科 （水産教員養成課程）	42	18
	③	—
食品生産科学科 （水産教員養成課程）	30	14
	②	—
海洋政策文化学科 （水産教員養成課程）	21	12
	①	—
計 （水産教員養成課程）	93	44
	⑥	—

（注意事項）

海洋生命科学部の前期日程の〇印の数は、水産教員養成課程の募集人員で外数です。

〇印のつかない一般と区別します。

（詳細は「1. 募集学部・学科及び募集人員総表-水産教員養成課程（海洋生命科学部）について」を参照）

(1) 入試方法等

一般選抜は、大学入学共通テストの成績、教科・科目に係る個別テストの成績、調査書等の結果を総合して判定します。

1) 受験を要する教科・科目・配点

次のページのとおり。

《海洋生命科学部　海洋生物資源学科・食品生産科学科》

学部・学科		日程	大学入学共通テスト		教科・科目に係る個別テスト等		配点									
			教科	科目	教科	科目	試験区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	小論文	合計
海洋生命科学部	海洋生物資源学科	前期日程	国 地歴 公民 数 理 外 情	国 「地総・地探」、「歴総・日探」、「歴総・世探」、「地総／歴総／公」、「公・倫」、「公・政経」 から1 「数Ⅰ、数A」、「数Ⅱ、数B、数C」 物、化、生、地学から2 英、独、仏、中、韓から1 情Ⅰ 【6教科8科目】	数 理	「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B、数学C」 「物理基礎、物理」、 「化学基礎、化学」、 「生物基礎、生物」から1	大学入学共通テスト	100	50		150	150	150	50		650
							教科・科目に係る個別テスト				150	150				300
							計	100	50		300	300	150	50		950
		後期日程	数 理 外	「数Ⅰ、数A」、「数Ⅱ、数B、数C」 物、化、生から1 英、独、仏、中、韓から1 【3教科4科目】	その他	小論文	大学入学共通テスト				200	200	200			600
							教科・科目に係る個別テスト								300	300
							計				200	200	200		300	900
	食品生産科学科	前期日程	国 地歴 公民 数 理 外 情	国 「地総・地探」、「歴総・日探」、「歴総・世探」、「地総／歴総／公」、「公・倫」、「公・政経」 から1 「数Ⅰ、数A」、「数Ⅱ、数B、数C」 物、化、生、地学から2 英、独、仏、中、韓から1 情Ⅰ 【6教科8科目】	数 理	「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B、数学C」 「物理基礎、物理」、 「化学基礎、化学」、 「生物基礎、生物」から1	大学入学共通テスト	100	50		100	100	250	50		650
							教科・科目に係る個別テスト				150	150				300
							計	100	50		250	250	250	50		950
		後期日程	数 理 外 情	「数Ⅰ、数A」、「数Ⅱ、数B、数C」 物、化、生から1 英、独、仏、中、韓から1 情Ⅰ 【4教科5科目】	その他	小論文	大学入学共通テスト				200	200	200	100		700
							教科・科目に係る個別テスト								300	300
							計				200	200	200	100	300	1000

（注１）大学入学共通テストの利用教科・科目について
・科目名は次のとおり略記しています。
国（国語）、地総・地探（地理総合、地理探究）、歴総・日探（歴史総合、日本史探究）、歴総・世探（歴史総合、世界史探究）、地総／歴総／公（地理総合／歴史総合／公共）、公・倫（公共、倫理）、公・政経（公共、政治・経済）、「数Ⅰ、数Ａ（数学Ⅰ・数学Ａ）」、「数Ⅱ、数Ｂ、数Ｃ（数学Ⅱ、数学Ｂ、数学Ｃ）」、「物基礎／化基礎／生基礎／地学基礎」（物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎）、物（物理）、化（化学）、生（生物）、英（英語）、独（ドイツ語）、仏（フランス語）、中（中国語）、韓（韓国語）、情Ⅰ（情報Ⅰ）
・国語は近代以降の文章、古典（古文、漢文）の全てを利用します。
・「地総／歴総／公」は、「地理総合」「歴史総合」及び「公共」の３つの出題範囲のうち、２つを選択解答するものとします。
・英語にはリスニングを含みます。
・指定した教科・科目数を超えて受験した場合は、第１解答科目、第２解答科目の別がある教科・科目については第１解答科目の成績を、その他の教科・科目については高得点の教科・科目の成績を用います。
（注２）教科・科目に係る個別テスト等について
・数学のうち「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ａ、数学Ｂ、数学Ｃ」の出題範囲は、「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ａ」については全範囲、「数学Ｂ」の出題範囲は「数列」、「数学Ｃ」の出題範囲は「ベクトル」とします。
・理科のうち「物理基礎、物理」の出題範囲は、全範囲とします。
・理科のうち「化学基礎、化学」の出題範囲は、全範囲とします。
・理科のうち「生物基礎、生物」の出題範囲は、全範囲とします。
（注３）大学入学共通テスト及び教科・科目に係る個別テスト等の配点及び得点について
・海洋生命科学部の大学入学共通テスト及び教科・科目に係る個別テスト等の得点は科目ごとに偏差値に換算します。
・英語のリーディングとリスニングの配点の比率は以下のとおりです。
海洋生物資源学科　リーディング２：リスニング１
食品生産科学科　リーディング４：リスニング１

《海洋生命科学部　海洋政策文化学科》

学部・学科		日程	大学入学共通テスト		教科・科目に係る個別テスト等		配点									
			教科	科目	教科	科目	試験区分		国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	小論文	合計
海洋生命科学部	海洋政策文化学科	前期日程	国 地歴 公民 数 理 外 情	国 「地総・地探」、「歴総・日探」、「歴総・世探」、「地総／歴総／公」、「公・倫」、「公・政経」 から1 「数Ⅰ、数A」、「数Ⅱ、数B、数C」 物、化、生、地学から2 英、独、仏、中、韓から1 情Ⅰ 【6教科8科目】	数 理 その他	「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B、数学C」 「物理基礎、物理」、 「化学基礎、化学」、 「生物基礎、生物」 から1 小論文	大学入学共通テスト		200	100		200	200	250	50		1000
							教科・科目に係る個別テスト					① ※200	② ※200			300	500
							計	①	200	100		400	200	250	50	300	1500
							計	②	200	100		200	400	250	50	300	1500
			国 地歴 公民 数 理 外 情	または 国 「地総・地探」、「歴総・日探」、「歴総・世探」、「地総／歴総／公」、「公・倫」、「公・政経」（公民は1まで。また「地総／歴総／公」は2出題範囲を選択解答。） から2 「数Ⅰ、数A」、「数Ⅱ、数B、数C」 「物基礎／化基礎／生基礎／地学基礎」 英、独、仏、中、韓から1 情Ⅰ 【6教科8科目又は7教科8科目】	数 理 その他	「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B、数学C」 「物理基礎、物理」、 「化学基礎、化学」、 「生物基礎、生物」 から1 小論文	大学入学共通テスト		200	200		200	100	250	50		1000
							教科・科目に係る個別テスト					① ※200	② ※200			300	500
							計	①	200	200		400	100	250	50	300	1500
							計	②	200	200		200	300	250	50	300	1500
			国 地歴 公民 数 理 外 情	または 国 「地総・地探」、「歴総・日探」、「歴総・世探」、「地総／歴総／公」、「公・倫」、「公・政経」（公民は1まで。また「地総／歴総／公」は2出題範囲を選択解答。） から2 「数Ⅰ、数A」、「数Ⅱ、数B、数C」 物、化、生、地学から1 英、独、仏、中、韓から1 情Ⅰ 【6教科8科目又は7教科8科目】	数 理 その他	「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B、数学C」 「物理基礎、物理」、 「化学基礎、化学」、 「生物基礎、生物」 から1 小論文	大学入学共通テスト		200	200		200	100	250	50		1000
							教科・科目に係る個別テスト					① ※200	② ※200			300	500
							計	①	200	200		400	100	250	50	300	1500
							計	②	200	200		200	300	250	50	300	1500
		後期日程	国 数 地歴 公民 理 外	国 「数Ⅰ、数A」、「数Ⅱ、数B、数C」 から1 「地総・地探」、「歴総・日探」、「歴総・世探」、「公・倫」、「公・政経」 物、化、生、地学 から1 英、独、仏、中、韓から1 【3教科3科目】	その他	小論文	大学入学共通テスト		200 ※1	200 ※2		200 ※1	200 ※2	200			600
							教科・科目に係る個別テスト									300	300
							計		200 ※1	200 ※2		200 ※1	200 ※2	200		300	900

（注１）大学入学共通テストの利用教科・科目について

・科目名は次のとおり略記しています。

国（国語）、地総・地探（地理総合、地理探究）、歴総・日探（歴史総合、日本史探究）、歴総・世探（歴史総合、世界史探究）、地総／歴総／公（地理総合／歴史総合／公共）、公・倫（公共、倫理）、公・政経（公共、政治・経済）、数Ⅰ、数Ａ（数学Ⅰ・数学Ａ）、数Ⅱ、数Ｂ、数Ｃ（数学Ⅱ、数学Ｂ、数学Ｃ）、「物基礎／化基礎／生基礎／地学基礎」（物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎）、物（物理）、化（化学）、生（生物）、英（英語）、独（ドイツ語）、仏（フランス語）、中（中国語）、韓（韓国語）、情Ⅰ（情報Ⅰ）

・国語は近代以降の文章、古典（古文、漢文）の全てを利用します。

・「地総／歴総／公」は、「地理総合」「歴史総合」及び「公共」の３つの出題範囲のうち、２つを選択解答するものとします。
地理歴史、公民から２科目選択解答する場合「地総／歴総／公」で選択解答した問題の出題範囲の科目と同一名称を含む科目の組み合わせを選択することはできません。・

・地理歴史、公民において２科目選択する場合、「公共、倫理」と「公共、政治・経済」の組み合わせは選択できません。また、「地総／歴総／公」を選択する場合、解答する出題範囲と同一名称を含む科目の組み合わせは選択できません。

・「物基礎／化基礎／生基礎／地学基礎」は、「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」及び「地学基礎」の４つの出題範囲のうち、２つを選択解答するものとします。

・英語にはリスニングを含みます。
・指定した教科・科目数を超えて受験した場合は、第１解答科目、第２解答科目の別がある教科・科目については第１解答科目の成績を、その他の教科・科目については高得点の教科・科目の成績を用います。

(注２) 教科・科目に係る個別テスト等について
・数学のうち「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B、数学C」の出題範囲は、「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学A」については全範囲、「数学B」の出題範囲は「数列」、「数学C」の出題範囲は「ベクトル」とします。
・理科のうち「物理基礎、物理」の出題範囲は、全範囲とします。
・理科のうち「化学基礎、化学」の出題範囲は、全範囲とします。
・理科のうち「生物基礎、生物」の出題範囲は、全範囲とします。

(注３) 大学入学共通テスト及び教科・科目に係る個別テスト等の配点及び得点について
・配点に※印を付してある教科は選択教科を表します。
・後期日程は、※1の「国語」または「数学」から１科目、※2の「地歴」「公民」または「理科」から１科目を選択するものとします。
・海洋生命科学部の大学入学共通テスト及び教科・科目に係る個別テスト等の得点は科目ごとに偏差値に換算します。
・英語のリーディングとリスニングの配点の比率は以下のとおりです。
　海洋政策文化学科　リーディング４：リスニング１

2)　大学入学共通テスト

科目選択の方法等

<table>
<tr><th>学 科</th><th>前 期 日 程</th><th>後 期 日 程</th></tr>
<tr><td>海洋生物資源学科</td><td rowspan="2">・指定した教科・科目数を超えて受験した場合は、第１解答科目の成績を用いる。

【6教科8科目】</td><td rowspan="2">・指定した教科・科目数を超えて受験した場合は、第１解答科目の成績を用いる。
・第 1 解答科目が本学の指定した科目でない場合は、受験できない。

【海洋生物資源学科　3教科4科目】
【食品生産科学科　　4教科5科目】</td></tr>
<tr><td>食品生産科学科</td></tr>
<tr><td>海洋政策文化学科</td><td>・指定した教科・科目数を超えて受験した場合は、第１解答科目の成績を用いる。
・『「地理歴史」、「公民」』から 2 科目、「理科」から２科目を受験した場合には、次の①、②及び③の科目の成績を用いる。
①『「地理歴史」、「公民」』の第 1 解答科目
②「理科」の第１解答科目
③『「地理歴史」、「公民」』の第 2 解答科目と「理科」の第 2 解答科目のうち高得点の科目

【6教科8科目又は7教科8科目】</td><td>・指定した教科・科目数を超えて受験した場合は、第１解答科目の成績を用いる。
・第 1 解答科目が本学の指定した科目でない場合は、受験できない。
・「国語」、「数学」の選択において、指定した教科・科目数を超えて受験した場合は、高得点の教科・科目の成績を用いる。
・『「地理歴史」、「公民」』、「理科」の選択において、指定した教科・科目数を超えて受験した場合は、『「地理歴史」、「公民」』の第１解答科目と「理科」の第１解答科目のうち高得点の科目の成績を用いる。

【3教科3科目】</td></tr>
</table>

注意事項

ア「国語」は近代以降の文章、古典（古文、漢文）の全てを利用します。

イ「英語」にはリスニングテストを含みます。

ウ 各学科が指定した受験を要する教科・科目のうち1つでも未受験のものがある場合は、教科・科目に係る個別テストは受験できません。

エ『「地理歴史」、「公民」』、「理科」の受験に際し、第1解答科目が学部学科の指定した科目でない場合は、教科・科目に係る個別テストは受験できません。

オ 本学では、大学入学共通テストの前年度成績は利用できません。

3)　教科・科目に係る個別テスト

教科･科目等

<table>
<tr><th>学 科</th><th>前 期 日 程</th><th>後 期 日 程</th></tr>
<tr><td>海洋生物資源学科</td><td rowspan="2">数 学：数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B[数列]、
数学C[ベクトル]

理 科：物理基礎･物理[すべての内容]、化学基礎･化学[すべての内容]、生物基礎･生物[すべての内容]から1科目</td><td rowspan="3">小論文</td></tr>
<tr><td>食品生産科学科</td></tr>
<tr><td>海洋政策文化学科</td><td>数 学：数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B[数列]、
数学C[ベクトル]
又は
理 科：物理基礎･物理[すべての内容]、化学基礎･化学[すべての内容]、生物基礎･生物[すべての内容]から1科目
のいずれかを選択
小論文</td></tr>
</table>

注意事項

ア　指定した教科･科目を1つでも受験しなかった者は、不合格とします。

イ　前期日程海洋生命科学部の理科の受験科目は出願時に選択してください。なお、前期日程海洋生命科学部の海洋政策文化学科を志望する者は、数学又は理科のいずれかの教科を選択し、理科を選択した者は、さらに理科の受験科目を選択してください。いずれの場合も出願後の受験教科･科目の変更はできません。

ウ　前期日程海洋生命科学部の選択教科･科目は、大学入学共通テストの受験を要する教科･科目と同じ教科･科目あるいは異なる教科･科目のいずれであっても差し支えありません。

4)　採点･評価基準

<table>
<tr><th>日程</th><th>教科等</th><th>採 点 ・ 評 価 基 準</th></tr>
<tr><td rowspan="3">前期日程</td><td>数 学</td><td rowspan="2">記述式解答問題では、解答に至る考え方･道筋も採点評価の対象とする場合があります。</td></tr>
<tr><td>理 科</td></tr>
<tr><td>小論文</td><td>自然、社会、人間に係わる諸問題について、総合的、批判的に考察し表現する力を評価の対象とします。</td></tr>
<tr><td>後期日程</td><td>小論文</td><td>論旨を首尾一貫させながら、文章全体を論理的にしかも説得力のある形に構成する能力があるか、自然科学的なものの見方を身につけているかについて総合的に評価します。</td></tr>
</table>

5)　合否判定基準

原則として学科ごとに、大学入学共通テスト及び教科・科目に係る個別テストの得点の合計点が上位の者（同点の場合は教科・科目に係る個別テストの得点が高い者が上位）から順次、大学入学共通テストの得点、教科・科目に係る個別テストの得点、提出書類の結果を考慮して総合的に判定します。

6)　教科・科目に係る個別テストの期日･時間･場所

前期日程

<table>
<tr><td>試験日</td><td colspan="4">2027 年 2 月 25 日（木）</td></tr>
<tr><td>学科</td><td>時　間</td><td>教科等</td><td>教科・科目に係る個別テスト実施場所</td><td>備 考</td></tr>
<tr><td>海洋生物資源学科
食品生産科学科</td><td>10：00～12：00
13：30～15：30</td><td>数学
理科</td><td rowspan="2">品川
キャンパス</td><td rowspan="2">「本学受験票」及び
「大学入学共通テスト受験票」を必ず持参すること

※印は出願時に選択した教科を受験してください。</td></tr>
<tr><td>海洋政策文化学科</td><td>10：00～12：00
13：30～15：30
16：00～17：30</td><td>数学※
理科※
小論文</td></tr>
</table>

後期日程

<table>
<tr><td>試験日</td><td colspan="4">2027 年 3 月 12 日（金）</td></tr>
<tr><td>学科</td><td>時　間</td><td>教科等</td><td>教科・科目に係る個別テスト実施場所</td><td>備 考</td></tr>
<tr><td>海洋生物資源学科
食品生産科学科
海洋政策文化学科</td><td>10：00～12：00</td><td>小論文</td><td>品川
キャンパス</td><td>「本学受験票」及び
「大学入学共通テスト受験票」を必ず持参すること</td></tr>
</table>

品川キャンパス 東京都港区港南4-5-7　　TEL 03-5463-0510

※ 本学ホームページの「TOP ページ → アクセス」を参照してください。

海洋工学部

(1)　募集学科及び募集人員

学 科	募 集 人 員	
	前 期 日 程	後 期 日 程
海事システム工学科	36	14
海洋電子機械工学科	34	14
流 通 情 報 工 学 科	20	14
計	90	42

(2)　入試方法等

一般選抜は、大学入学共通テストの成績、教科・科目に係る個別テストの成績、調査書等を総合して判定します。

1）受験を要する教科･科目･配点

次のページのとおり。

《海洋工学部　海事システム工学科・海洋電子機械工学科》

学部・学科		日程	大学入学共通テスト		教科・科目に係る個別テスト等		配点								
			教科	科目	教科	科目	試験区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	合計
海洋工学部	海事システム工学科	前期日程	国 地歴 公民 数 理 外 情	国 「地総・地探」、「歴総・日探」、「歴総・世探」、「地総／歴総／公」、「公・倫」、「公・政経」 から1 「数Ⅰ、数A」、「数Ⅱ、数B、数C」 物（必須） 化、生、地学から1 英、独、仏、中、韓から1 情Ⅰ 【6教科8科目】	数 外	「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B、数学C」 または 「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学C」 「英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ」	大学入学共通テスト	200	100		200	200	100	100	900
							教科・科目に係る個別テスト				300		200		500
							計	200	100		500	200	300	100	1400
		後期日程	国 地歴 公民 理 数 外 情	国 「地総・地探」、「歴総・日探」、「歴総・世探」、「地総／歴総／公」、「公・倫」、「公・政経」 物、化、生、地学 から1 「数Ⅰ、数A」、「数Ⅱ、数B、数C」 英、独、仏、中、韓から1 情Ⅰ 【4教科5科目】	理 外	「物理基礎、物理」 「英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ」	大学入学共通テスト	※200	※200		400	※200	200	100	900
							教科・科目に係る個別テスト					300	200		500
							計	※200	※200		400	300	400	100	1400
											400	500	400	100	1400
	海洋電子機械工学科	前期日程	国 地歴 公民 数 理 外 情	国 「地総・地探」、「歴総・日探」、「歴総・世探」、「地総／歴総／公」、「公・倫」、「公・政経」 から1 「数Ⅰ、数A」、「数Ⅱ、数B、数C」 物（必須） 化、生、地学から1 英、独、仏、中、韓から1 情Ⅰ 【6教科8科目】	数 外	「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B、数学C」 または 「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学C」 「英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ」	大学入学共通テスト	100	100		200	200	200	50	850
							教科・科目に係る個別テスト				300		100		400
							計	100	100		500	200	300	50	1250
		後期日程	数 理 外 情	「数Ⅰ、数A」、「数Ⅱ、数B、数C」 物、化、生、地学から2 英、独、仏、中、韓から1 情Ⅰ 【4教科6科目】	理 外	「物理基礎、物理」 「英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ」	大学入学共通テスト				200	100	200	50	550
							教科・科目に係る個別テスト					200	50		250
							計				200	300	250	50	800

（注1）大学入学共通テストの利用教科・科目について
・科目名は次のとおり略記しています。
国（国語）、地総・地探（地理総合、地理探究）、歴総・日探（歴史総合、日本史探究）、歴総・世探（歴史総合、世界史探究）、地総／歴総／公（地理総合／歴史総合／公共）、公・倫（公共、倫理）、公・政経（公共、政治・経済）、「数Ⅰ、数A（数学Ⅰ、数学A）」、「数Ⅱ、数B、数C（数学Ⅱ、数学B、数学C）」、「物基礎／化基礎／生基礎／地学基礎」（物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎）、物（物理）、化（化学）、生（生物）、英（英語）、独（ドイツ語）、仏（フランス語）、中（中国語）、韓（韓国語）、情Ⅰ（情報Ⅰ）
・国語は近代以降の文章、古典（古文、漢文）の全てを利用します。
・「地総／歴総／公」は、「地理総合」「歴史総合」及び「公共」の3つの出題範囲のうち、2つを選択解答するものとします。
・英語にはリスニングを含みます。
・指定した教科・科目数を超えて受験した場合は、第1解答科目、第2解答科目の別がある教科・科目については第1解答科目の成績を、その他の教科・科目については高得点の教科・科目の成績を用います。

(注２) 教科・科目に係る個別テスト等について
・数学のうち「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B、数学C」の出題範囲は、数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Aは全範囲、数学Bは「数列」、数学Cは「ベクトル」とします。
数学のうち「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学C」の出題範囲は、数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学Aは全範囲、数学Bは「数列」、数学Cは「ベクトル」及び「平面上の曲線と複素数平面」とします。
・理科のうち「物理基礎、物理」の出題範囲は、全範囲とします。
・「英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ」の出題内容は、「和文英訳（与えられた条件に従って日本語の文を英文に書き換える問題)」とします。
(注３) 大学入学共通テスト及び教科・科目に係る個別テスト等の配点及び得点について
・配点に※印を付してある教科は、選択教科を表します。
・英語のリーディングとリスニングの配点の比率は以下のとおりです。
海事システム工学科、海洋電子機械工学科　リーディング４：リスニング１

《海洋工学部　流通情報工学科》

学部・学科		日程	大学入学共通テスト		教科・科目に係る個別テスト等		配点								
			教科	科目	教科	科目	試験区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	合計
海洋工学部	流通情報工学科	前期日程	国 地歴 公民 数 理 外 情	国 「地総・地探」、「歴総・日探」、「歴総・世探」、「地総／歴総／公」、「公・倫」、「公・政経」 から1 「数Ⅰ、数A」、「数Ⅱ、数B、数C」 物基礎／化基礎／生基礎／地学基礎から2 および物、化、生、地学から1 （同一名称を含む科目を選択することはできない） 英、独、仏、中、韓から1 情Ⅰ 【6教科9科目】	数 外	「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B、数学C」 または 「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学C」 「英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ」	大学入学共通テスト	100	100		200	200	100	50	750
							教科・科目に係る個別テスト				200		100		300
							計	100	100		400	200	200	50	1050
			国 地歴 公民 数 理 外 情	または 国 「地総・地探」、「歴総・日探」、「歴総・世探」、「地総／歴総／公」、「公・倫」、「公・政経」 から1 「数Ⅰ、数A」、「数Ⅱ、数B、数C」 物、化、生、地学から2 英、独、仏、中、韓から1 情Ⅰ 【6教科8科目】	数 外	「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B、数学C」 または 「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学C」 「英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ」	大学入学共通テスト	100	100		200	200	100	50	750
							教科・科目に係る個別テスト				200		100		300
							計	100	100		400	200	200	50	1050
			国 地歴 公民 数 理 外 情	または 国 「地総・地探」、「歴総・日探」、「歴総・世探」、「地総／歴総／公」、「公・倫」、「公・政経」（公民は1まで。また「地総／歴総／公」は2出題範囲を選択解答。） から2 「数Ⅰ、数A」、「数Ⅱ、数B、数C」 物基礎／化基礎／生基礎／地学基礎から2 英、独、仏、中、韓から1 情Ⅰ 【6教科9科目又は7教科9科目】	数 外	「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B、数学C」 または 「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学C」 「英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ」	大学入学共通テスト	100	200		200	100	100	50	750
							教科・科目に係る個別テスト				200		100		300
							計	100	200		400	100	200	50	1050
			国 地歴 公民 数 理 外 情	または 国 「地総・地探」、「歴総・日探」、「歴総・世探」、「地総／歴総／公」、「公・倫」、「公・政経」 （公民は1まで。また「地総／歴総／公」は2出題範囲を選択解答。） から2 「数Ⅰ、数A」、「数Ⅱ、数B、数C」 物、化、生、地学から1 英、独、仏、中、韓から1 情Ⅰ 【6教科8科目又は7教科8科目】	数 外	「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B、数学C」 または 「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学C」 「英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ」	大学入学共通テスト	100	200		200	100	100	50	750
							教科・科目に係る個別テスト				200		100		300
							計	100	200		400	100	200	50	1050

海洋工学部	流通情報工学科	後期日程	国 数 外	国 「数Ⅰ、数A」、「数Ⅱ、数B、数C」 英、独、仏、中、韓から1 【3教科4科目】	外	「英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ」	大学入学共通テスト	200		400		200		800
							教科・科目に係る個別テスト					200		200
							計	200		400		400		1000
			地歴 公民 数 外	または 「地総・地探」、「歴総・日探」、「歴総・世探」、「地総／歴総／公」、「公・倫」、「公・政経」 から1 「数Ⅰ、数A」、「数Ⅱ、数B、数C」 英、独、仏、中、韓から1 【3教科4科目】	外	「英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ」	大学入学共通テスト		200	400		200		800
							教科・科目に係る個別テスト					200		200
							計		200	400		400		1000
			数 理 外	または 「数Ⅰ、数A」、「数Ⅱ、数B、数C」 物基礎／化基礎／生基礎／地学基礎から2 または物、化、生、地学から1 英、独、仏、中、韓から1 【3教科4科目又は5科目】	外	「英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ」	大学入学共通テスト			400	200	200		800
							教科・科目に係る個別テスト					200		200
							計			400	200	400		1000

(注1) 大学入学共通テストの利用教科・科目について
・科目名は次のとおり略記しています。
国（国語）、地総・地探（地理総合、地理探究）、歴総・日探（歴史総合、日本史探究）、歴総・世探（歴史総合、世界史探究）、地総／歴総／公（地理総合／歴史総合／公共）、公・倫（公共、倫理）、公・政経（公共、政治・経済）、「数Ⅰ、数A（数学Ⅰ、数学A）」、「数Ⅱ、数B、数C（数学Ⅱ、数学B、数学C）」、「物基礎／化基礎／生基礎／地学基礎」（物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎）、物（物理）、化（化学）、生（生物）、英（英語）、独（ドイツ語）、仏（フランス語）、中（中国語）、韓（韓国語）、情Ⅰ（情報Ⅰ）
・国語は近代以降の文章、古典（古文、漢文）の全てを利用します。
・「地総／歴総／公」は、「地理総合」「歴史総合」及び「公共」の3つの出題範囲のうち、2つを選択解答するものとします。
・地理歴史、公民において2科目選択する場合、「公共、倫理」と「公共、政治・経済」の組み合わせは選択できません。また、「地総／歴総／公」を選択する場合、解答する出題範囲と同一名称を含む科目の組み合わせは選択できません。
・「物基礎／化基礎／生基礎／地学基礎」は、「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」及び「地学基礎」の4つの出題範囲のうち、2つを選択解答するものとします。
・英語にはリスニングを含みます。
・指定した教科・科目数を超えて受験した場合は、第1解答科目、第2解答科目の別がある教科・科目については第1解答科目の成績を、その他の教科・科目については高得点の教科・科目の成績を用います。
(注2) 教科・科目に係る個別テスト等について
・数学のうち「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B、数学C」の出題範囲は、数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Aは全範囲、数学Bは「数列」、数学Cは「ベクトル」とします。
数学のうち「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学C」の出題範囲は、数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学Aは全範囲、数学Bは「数列」、数学Cは「ベクトル」及び「平面上の曲線と複素数平面」とします。
・「英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ」の出題内容は、「和文英訳（与えられた条件に従って日本語の文を英文に書き換える問題）」とします。
(注3) 大学入学共通テスト及び教科・科目に係る個別テスト等の配点及び得点について
・英語のリーディングとリスニングの配点の比率は以下のとおりです。
流通情報工学科　リーディング4：リスニング1

2)　大学入学共通テスト

科目選択の方法等

<table>
<tr><th>学 科</th><th>前 期 日 程</th><th>後 期 日 程</th></tr>
<tr><td>海事システム工学科</td><td rowspan="2">・指定した教科･科目数を超えて受験した場合は、第 1 解答科目の成績を用いる。

【6 教科 8 科目】</td><td rowspan="2">・指定した教科･科目数を超えて受験した場合は、「国語」、『「地理歴史」、「公民」』の第1解答科目、「理科」の第1解答科目のうち高得点の科目の成績を用いる。

【海事システム工学科　4教科5科目】
【海洋電子機械工学科　4教科6科目】</td></tr>
<tr><td>海洋電子機械工学科</td></tr>
<tr><td>流 通 情 報 工 学 科</td><td>・指定した教科･科目数を超えて受験した場合は、第 1 解答科目の成績を用いる。
・『「地理歴史」、「公民」』から 2 科目、「理科」から 2 科目を受験した場合には、次の①、②及び③の科目の成績を用いる。

①『「地理歴史」、「公民」』の第 1 解答科目
②「理科」の第 1 解答科目
③『「地理歴史」、「公民」』の第 2 解答科目と「理科」の第 2 解答科目のうち高得点の科目
・「理科」において、同一名称を含む科目を選択することはできない。
・「公民」から 2 科目を選択することはできない。

【6 教科 8 科目又は 6 教科 9 科目又は 7 教科 8 科目又は 7 教科 9 科目】</td><td>・指定した教科･科目数を超えて受験した場合は、「国語」、『「地理歴史」、「公民」』の第1解答科目、「理科」第1解答科目のうち高得点の科目の成績を用いる。

【3教科4科目又は3教科5科目】</td></tr>
</table>

注意事項

ア　「国語」は近代以降の文章、古典（古文、漢文）の全てを利用します。

イ　「英語」にはリスニングテストを含みます。

ウ　各学科が指定した受験を要する教科･科目のうち1つでも未受験のものがある場合は、教科・科目に係る個別テストは受験できません。

エ　本学では、大学入学共通テストの前年度成績は利用できません。

3)　教科・科目に係る個別テストの教科･科目等

前期日程

学科	教科・科目に係る個別テストの教科･科目･出題範囲等
海事システム工学科 海洋電子機械工学科 流 通 情 報 工 学 科	数 学：(数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B[数列]、数C［ベクトル]） 又は (数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B[数列]、数C［ベクトル及び平面上の曲線と複素数平面]）のうちいずれかを選択 外国語：英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ

後期日程

学科	教科・科目に係る個別テストの教科･科目･出題範囲等
海事システム工学科 海洋電子機械工学科	理 科：物理基礎･物理[すべての内容] 外国語：英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ
流 通 情 報 工 学 科	外国語：英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ

注意事項

ア　指定した教科･科目を1つでも受験しなかった者は、不合格とします。

イ　外国語（英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ）の出題形式は、和文英訳（与えられた条件に従って日本語の文を英文に書き換える問題）です。

4)　採点･評価基準

日程	教科等	採 点 ・ 評 価 基 準
前期日程	数学	全問記述式であり、解答の正確さとともに、論理的思考力を見るため途中経過を重視した評価を行います。
	外国語	与えられた条件に従って英文を完成させる問題を出題しますが、採点は英語としての自然さを考慮し、解答例と異なる場合でも点を与えることがあります。
後期日程	理科	問題は記述式と穴埋め式になります。記述式においては解答に至る考え方の論理を重視し、最終的な答えのみでは得点を与えません。問題によっては、完全な解答になっていなくても、論理の道筋があっている場合は、部分点を与えます。
	外国語	与えられた条件に従って英文を完成させる問題を出題しますが、採点は英語としての自然さを考慮し、解答例と異なる場合でも点を与えることがあります。

5)　合否判定基準

原則として学科ごとに、大学入学共通テスト及び教科・科目に係る個別テストの得点の合計点が上位の者（同点の場合は教科・科目に係る個別テストの得点が高い者が上位）から順次、大学入学共通テストの得点、教科・科目に係る個別テストの得点、調査書等を考慮して総合的に判定します。

6)　教科・科目に係る個別テストの期日･時間･場所

前期日程

試験日	2027 年 2 月 25 日（木）			
学科	時　間	教科等	教科・科目に係る個別テスト実施場所	備 考
海事システム工学科 海洋電子機械工学科 流 通 情 報 工 学 科	10：00～12：00 13：30～14：30	数 学 外国語	越中島 キャンパス	「本学受験票」及び 「大学入学共通テスト受験票」を必ず持参すること

後期日程

試験日	2027 年 3 月 12 日（金）			
学科	時　間	教科等	教科・科目に係る個別テスト実施場所	備 考
海事システム工学科 海洋電子機械工学科	10：00～12：00 13：30～14：30	理 科 外国語	越中島 キャンパス	「本学受験票」及び 「大学入学共通テスト受験票」を必ず持参すること
流 通 情 報 工 学 科	13：30～14：30	外国語		

越中島キャンパス 東京都江東区越中島2-1-6　 TEL 03-5245-7315

※本学ホームページの「TOP ページ → アクセス」を参照してください。

海洋資源環境学部

(1)　募集学科及び募集人員

学 科	募 集 人 員	
	前 期 日 程	後 期 日 程
海洋環境科学科	37※	14※
海洋資源エネルギー学科	27※	11※
計	64	25

※　海洋資源環境学部では、前期日程、後期日程とも海洋環境科学科、海洋資源エネルギー学科の 2 学科間で、第 2 志望を認めます。志願者は、2 学科の中から第 1 志望、第 2 志望の順位を付けて出願してください。第 1 志望のみでも構いません。

(2)　入試方法等

一般選抜は、大学入学共通テストの成績、教科・科目に係る個別テストの成績、調査書等の結果を総合して判定します。

1）受験を要する教科･科目･配点

次のページのとおり。

《海洋資源環境学部　海洋環境科学科・海洋資源エネルギー学科》

学部・学科		日程	大学入学共通テスト		教科・科目に係る個別テスト等		配点									
			教科	科目	教科	科目	試験区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	小論文	合計
海洋資源環境学部	海洋環境科学科	前期日程	国 地歴 公民 数 理 外 情	国 「地総・地探」、「歴総・日探」、「歴総・世探」、「地総／歴総／公」、「公・倫」、「公・政経」 から1 「数Ⅰ、数A」、「数Ⅱ、数B、数C」 物、化、生、地学から2 英、独、仏、中、韓から1 情Ⅰ 【6教科8科目】	数 理	「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B、数学C」 「物理基礎、物理」、「化学基礎、化学」、「生物基礎、生物」から1	大学入学共通テスト	100	50		100	100	250	50		650
							教科・科目に係る個別テスト				250	250				500
							計	100	50		350	350	250	50		1150
		後期日程	数 理 外 情	「数Ⅰ、数A」、「数Ⅱ、数B、数C」 物、化、生、地学から1 英、独、仏、中、韓から1 情Ⅰ 【4教科5科目】	その他	小論文	大学入学共通テスト				200	200	200	100		700
							教科・科目に係る個別テスト								300	300
							計				200	200	200	100	300	1000
	海洋資源エネルギー学科	前期日程	国 地歴 公民 数 理 外 情	国 「地総・地探」、「歴総・日探」、「歴総・世探」、「地総／歴総／公」、「公・倫」、「公・政経」 から1 「数Ⅰ、数A」、「数Ⅱ、数B、数C」 物、化、生、地学から2 英、独、仏、中、韓から1 情Ⅰ 【6教科8科目】	数 理	「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B、数学C」 「物理基礎、物理」、「化学基礎、化学」、「生物基礎、生物」から1	大学入学共通テスト	100	50		100	100	250	50		650
							教科・科目に係る個別テスト				250	250				500
							計	100	50		350	350	250	50		1150
		後期日程	数 理 外 情	「数Ⅰ、数A」、「数Ⅱ、数B、数C」 物、化、生、地学から1 英、独、仏、中、韓から1 情Ⅰ 【4教科5科目】	その他	小論文	大学入学共通テスト				200	200	200	100		700
							教科・科目に係る個別テスト								300	300
							計				200	200	200	100	300	1000

（注１）大学入学共通テストの利用教科・科目について
・科目名は次のとおり略記しています。
国（国語）、地総・地探（地理総合、地理探究）、歴総・日探（歴史総合、日本史探究）、歴総・世探（歴史総合、世界史探究）、地総／歴総／公（地理総合、歴史総合、公共）、公・倫（公共、倫理）、公・政経（公共、政治・経済）、「数Ⅰ、数A（数学Ⅰ、数学A）」、「数Ⅱ、数B、数C（数学Ⅱ、数学B、数学C）」、「物基礎／化基礎／生基礎／地学基礎」（物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎）、物（物理）、化（化学）、生（生物）、英（英語）、独（ドイツ語）、仏（フランス語）、中（中国語）、韓（韓国語）、情Ⅰ（情報Ⅰ）
・国語は近代以降の文章、古典（古文、漢文）の全てを利用します。
・「地総／歴総／公」は、「地理総合」「歴史総合」及び「公共」の３つの出題範囲のうち、２つを選択解答するものとします。
・英語にはリスニングを含みます。
・指定した教科・科目数を超えて受験した場合は、第１解答科目、第２解答科目の別がある教科・科目については第１解答科目の成績を、その他の教科・科目については高得点の教科・科目の成績を用います。
（注２）教科・科目に係る個別テスト等について
・数学のうち「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B、数学C」の出題範囲は、「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学A」については全範囲、「数学B」の出題範囲は「数列」、「数学C」の出題範囲は「ベクトル」とします。
・理科のうち「物理基礎、物理」の出題範囲は、全範囲とします。
・理科のうち「化学基礎、化学」の出題範囲は、全範囲とします。
・理科のうち「生物基礎、生物」の出題範囲は、全範囲とします。
（注３）大学入学共通テスト及び教科・科目に係る個別テスト等の配点及び得点について
・海洋資源環境学部の大学入学共通テスト及び教科・科目に係る個別テスト等の得点は科目ごとに偏差値に換算します。
（次ページに続く）

・英語のリーディングとリスニングの配点の比率は以下のとおりです。
海洋環境科学科、海洋資源エネルギー学科　リーディング４：リスニング１

◎海洋資源環境学部の一般選抜は、前期日程・後期日程とも海洋資源環境学部の２学科間で、第２志望を認めます。海洋資源環境学部の全受験者を合計得点順に並べ、その上位者から出願時の志望に応じて順次、合格者を決定します。

2)　大学入学共通テスト
科目選択の方法等

学科	前 期 日 程	後 期 日 程
海洋環境科学科	・指定した教科･科目数を超えて受験した場合は、第１解答科目の成績を用いる。 【6 教科 8 科目】	・指定した教科･科目数を超えて受験した場合は、第１解答科目の成績を用いる。 【4 教科 5 科目】
海洋資源 エネルギー学科		

注意事項
ア　「国語」は近代以降の文章、古典（古文、漢文）の全てを利用します。
イ　「英語」にはリスニングテストを含みます。
ウ　各学科が指定した受験を要する教科･科目のうち1つでも未受験のものがある場合は、教科・科目に係る個別テストは受験できません。
エ　『「地理歴史」、「公民」』、「理科」の受験に際し、第1解答科目が学部学科の指定した科目でない場合は、教科・科目に係る個別テストは受験できません。
オ　本学では、大学入学共通テストの前年度成績は利用できません。

3)　教科・科目に係る個別テスト
教科･科目等

学科	前 期 日 程	後 期 日 程
海洋環境科学科	数 学：数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学 A、数学 B[数列]、 数学 C［ベクトル］ 理 科：物理基礎･物理[すべての内容]、 化学基礎･化学[すべての内容]、 生物基礎･生物[すべての内容]から１科目	小論文
海洋資源 エネルギー学科		

注意事項
ア　指定した教科･科目を1つでも受験しなかった者は、不合格とします。
イ　前期日程海洋資源環境学部の理科の受験科目は出願時に選択してください。いずれの場合も出願後の受験科目の変更はできません。
ウ　前期日程海洋資源環境学部の選択科目は、大学入学共通テストの受験を要する科目と同じ科目あるいは異なる科目のいずれであっても差し支えありません。

4)　採点･評価基準

日程	教科等	採 点 ・ 評 価 基 準
前期日程	数 学	記述式解答問題では、解答に至る考え方･道筋も採点評価の対象とする場合があります。
	理 科	
後期日程	小論文	論旨を首尾一貫させながら、文章全体を論理的にしかも説得力のある形に構成する能力があるか、自然科学的なものの見方を身につけているかについて総合的に評価します。

5)　合否判定基準

原則として大学入学共通テスト及び教科・科目に係る個別テストの得点の合計点が上位の者（同点の場合は教科・科目に係る個別テストの得点が高い者が上位）から順次、大学入学共通テストの得点、教科・科目に係る個別テストの得点、調査書等の結果を考慮して総合的に判定します。

海洋資源環境学部では、前期日程、後期日程とも海洋環境科学科、海洋資源エネルギー学科の2学科間で、第2志望を認めます。海洋資源環境学部志願者は、上記2学科の中から第1志望、第2志望の順位を付けて出願してください。（第1志望のみでも構いません。）

海洋資源環境学部の全受験者を合計得点順に並べ、その上位者から出願時の志望に応じて順次、合格者を決定します。

6)　教科・科目に係る個別テストの期日･時間･場所

前期日程

試験日	2027 年 2 月 25 日（木）			
学科	時　間	教科等	教科・科目に係る個別テスト実施場所	備 考
海洋環境科学科 海洋資源エネルギー学科	10：00～12：00	数 学	品川 キャンパス	「本学受験票」及び「大学入学共通テスト受験票」を必ず持参すること
	13：30～15：30	理 科		

後期日程

試験日	2027 年 3 月 12 日（金）			
学科	時　間	教科等	教科・科目に係る個別テスト実施場所	備 考
海洋環境科学科 海洋資源エネルギー学科	10：00～12：00	小論文	品川 キャンパス	「本学受験票」及び「大学入学共通テスト受験票」を必ず持参すること

品川キャンパス 東京都港区港南4-5-7　　TEL 03-5463-0510

※　本学ホームページの「TOP ページ → アクセス」を参照してください。

※　海洋資源環境学部に入学し、卒業後に船舶職員となることを志望する方は、「5.健康診断について-(3)海洋科学専攻科への進学について」を確認してください。

8. 不正行為の取扱い

次のことをすると不正行為となります。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を指示され、それ以後の受験はできなくなります。また、受験した全ての試験の成績を無効とします。

なお、不正行為については、状況により警察へ被害届を提出するなどの対応をとる場合があります。

(1) 入学志願票、受験票へ故意に虚偽の入力（インターネット出願登録の際に受験者本人以外の写真データを取り込むことなど。）又は解答用紙へ故意に虚偽の記入（解答用紙に本人以外の名前･受験番号を記入するなど。）をすること。
(2) カンニング（カンニングペーパー･参考書･他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど。）をすること。
(3) 他の受験者に答えを教えることやカンニングの手助けをすること。
(4) 配付された問題冊子を、その試験時間が終了する前に試験室から持ち出すこと。
(5) 解答用紙を試験室から持ち出すこと。
(6) 「解答はじめ。」の指示の前に、問題冊子を開くことや解答を始めること。
(7) 試験時間中に携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等。）、タブレット端末、電子辞書、IC レコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類を使用すること。
※ イヤホンについては、耳に装着していれば使用しているものとします。（試験時間中、病気･負傷や障害等により補聴器等を使用したい場合は、受験上の配慮申請（「6. 障害等のある入学志願者との事前相談について」を参照）が必要です）。
(8) 試験時間中に、定規、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具を使用すること。
(9) 「解答やめ。鉛筆や消しゴムを置いてください。」の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていることや解答を続けること。

上記（1）～（9）以外にも、次のことをすると不正行為となることがあります。指示等に従わず、不正行為と認定された場合の取扱いは、上記（1）～（9）と同様です。

(10) 試験時間中に携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等。）、タブレット端末、電子辞書、IC レコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類や定規、コンパス、電卓等の補助具をかばん等にしまわず、身に付けていることや手に持っていること。
※ 通信機能のある電子機器類（携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等。）、タブレット端末等）は、試験時間中は電源が切られていても、かばんの中にしまっていなければ、使用しているものとして、不正行為となります。衣類のポケット等に入れていた場合も、使用しているものとして、不正行為となります。
(11) 試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信･アラーム･振動音など。）を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。
(12) 試験に関することについて、自身や他の受験者を利するような虚偽の申し出をすること。
(13) 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
(14) 試験場において監督者等の指示に従わないこと。
(15) その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

9. 合格者の発表

(1) 発表日時

試験日程	発表日時	掲載場所
前期日程	2027 年 3 月 8 日（月）15 時頃	東京海洋大学ホームページ https://www.kaiyodai.ac.jp/
後期日程	2027 年 3 月 23 日（火）15 時頃	

(2) 発表方法

合格者の受験番号を本学ホームページ（https://www.kaiyodai.ac.jp/）に掲載し、本学掲示板での合格発表は行いません。電話等による合格、不合格の照会には応じません。

また、合格通知書は、インターネット出願システムの「マイページ」に各発表日時の16時頃から掲載します。「マイページ」にログインし、「合格通知書」の欄を必ずご確認ください。

※　事務処理の都合上、合格通知書に記載される氏名の漢字の一部を他のものに置き換える場合がありますので、ご了承ください。

10. 入学手続

入学手続は次のとおりですが、詳細は合格者に別途通知します。入学手続を行わなかった者は入学を辞退したものとして取り扱います。

なお、入学を辞退する場合には、入学辞退の申請を行う必要があります。

(1)　入学手続日

郵送（レターパックプラス（料金600円））による受付とします。詳細は入学手続関係書類の中でお知らせします。

試験日程	入学手続期間
前期日程	2027 年 3 月 8 日（月）～3 月 15 日（月）17 時（必着）
後期日程	2027 年 3 月 23 日（火）～3 月 27 日（土）17 時（必着）

(2)　提出書類

1）国公立大学入学確認票
2）卒業証明書（入学手続日時点で在学中の場合は2027年3月31日まで）
3）その他本学の指定する書類等（合格者に通知します）

(3)　入学に要する経費（予定）

1）入学料 282,000 円
2）授業料 年額 535,800 円（前期分 267,900 円 後期分 267,900 円）
3）その他 学生教育研究災害傷害保険費、テキスト代、実習費等（金額は学科により異なります）。

注 1　入学手続の詳細については、入学手続関係書類に明記してありますので、その内容をよく確認して入学手続を行ってください。
注 2　入学手続完了者が事情により入学を辞退した場合、入学料は返還できません。
注 3　授業料は入学後に徴収します。
注 4　入学時及び在学中に入学料及び授業料の改定を行った場合は、改定時から新入学料及び新授業料が適用されます。

(4)　留意事項

1) 本学に入学手続を行った者は、これを取り消して他の国公立大学に入学手続を行うことはできません。
2) 他の国公立大学に入学手続を行った者は、これを取り消して本学に入学手続を行うことはできません。
3) 本学の「前期日程」に入学手続を完了した者は、本学の「後期日程」、他の国公立大学の「後期日程」又は公立大学の「中期日程」を受験していても、それらの合格者とはなりません。

11. 欠員補充

合格者又は入学手続完了者が入学定員に満たない場合には、前期日程･後期日程ともに、以下により欠員の補充を行います。

(1)　追加合格

追加合格の通知は、他の国公立大学に合格していない者、及び合格したが入学を辞退した者に 2027 年 3 月 28 日（日）から 3 月 31 日（水）までの期間に本人あてに電話等で直接連絡します。なお、不在等のため連絡･確認ができなかった場合は、入学の意思がないものとして取扱うことがありますので、ご注意ください。

また、水産教員養成課程に欠員が生じた場合は、出願時の志望の有無にかかわらず、改めて合格対象者に水産教員養成課程での入学の意思を確認します。

(2)　欠員補充第2次募集

1)　第１次募集による選抜の結果、各学科の入学定員に不足が生じた場合、欠員補充のための第２次募集を実施することがあります。欠員補充第２次募集を実施する場合は、2027 年３月 28 日（日）以降に本学ホームページ（https://www.kaiyodai.ac.jp/）に掲載します。

2)　欠員補充第2次募集に出願できる者は、次の各号のいずれかに該当する者で、かつ、大学入学共通テストにおいて本学の「前期日程」で課している教科･科目を受験した者です。

①　国公立大学を受験したが、いずれの大学にも合格していない者

②　国公立大学に合格したが、いずれの大学にも入学手続を行っていない者

③　大学入学共通テストを受験したが、いずれの国公立大学にも出願していない者

3)　欠員補充第2次募集への出願は、1つの大学･学部に限られます。欠員補充第2次募集の出願後、他の国公立大学へ入学手続を行った場合は、受験しても入学許可は得られません。

12.個人情報の取扱い

(1)　入試に係る個人情報の利用

1)　国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名及び大学入学共通テストの受験番号に限って、合否及び入学手続等に関する個人情報が、大学入試センター及び併願先の国公立大学に通知されます。

2)　入学志願票に記載された個人情報は、引き続き入学後の学籍データとして利用します。

3)　入学志願票等に記載された内容、入試に用いた試験成績及び出願書類の内容等の個人情報は、本学入学者選抜に係る用途の他、入試及び大学教育の改善のための調査･研究、学術研究の資料及び統計的資料の作成にも利用します。調査･研究結果及び統計的資料の発表に際しては個人が特定できないように処理します。

4)　上記の各種業務にあたって、その一部を本学より当該業務の委託を受けた業者（以下、「受託業者」という。）において行うことがあります。

ついては、受託業者に対して、委託した業務を遂行するために必要となる範囲で、知り得た個人情報の全部又は一部を提供することがあります。

5)　入学準備資料送付のため、合格者の出願時の住所、氏名等を東京海洋大学生活協同組合へ提供します。この個人情報は、入学準備資料の送付のみに使用されます。

(2)　入学後の個人情報の利用

1)　入学後、各授業のクラス編成に当たっては、入試に用いた試験成績を利用することがあります。

2)　入学料免除、第1年次における授業料免除及び日本学生支援機構を始めとする奨学金の選考に当たっては、主に経済的困窮度及び高等学校の学習成績等により行いますが、場合によっては入試に用いた試験成績を利用することがあります。

3)　転学部･転学科の選考に当たっては、主に入学後の学業成績により行いますが、入試に用いた試験成績を利用することがあります。

13.入試情報開示

(1) 解答例・出題の意図の公開について

1)　公開方法

解答例及び出題の意図を本学ホームページ上で公開します。ただし、解答例は各教科･科目の代表的な解答を例示したものであり、公開した解答例以外の正答も有り得ます。

URL https://www.kaiyodai.ac.jp/

2) 公開期間

①　前期日程

2027 年３月８日（月）15 時から 2030 年３月頃まで

②　後期日程

2027 年３月 23 日（火）15 時から 2030 年３月頃まで

3) 解答例・出題の意図への質問について

①　質問方法

解答例等に質問がある場合は、解答例等の公開日から１週間以内に本学所定の申請書（ホームページに掲載）に必要事項を記入の上、本学受験票のコピー、返信用封筒（レターパックプラス（次

ページ参照)）及び A4 サイズの用紙に記載した解答例等に対する質問事項とともに、下記の申請先まで郵送で提出してください。

※　解答例等に対する問い合わせは、電話、電子メール及び窓口では対応いたしません。

※　受付期間を過ぎた申請書は受理いたしません。

②　申請先

〒108-8477 東京都港区港南 4-5-7 東京海洋大学入試課入試第一係

(2)　最高点、最低点、平均点の公開について

一般選抜（前期日程試験･後期日程試験）に係る合格者の成績の総得点（大学入学共通テストと教科・科目に係る個別テストの合計点）の最高点、最低点、平均点は本学ホームページ上で公開します。ただし、各募集学科の受験者が 10 名以下の試験については非公開とします。

URL https://www.kaiyodai.ac.jp/

(3) 個人成績の開示について

1) 開示内容

試験成績の順位及び得点を開示します。

2) 申請手続

個人成績の開示を希望する志願者は、インターネット出願登録時に「入試個人成績開示申請」の欄を「希望する」と選択してください。なお、出願登録時以外に開示申請はできませんので、注意してください。

3) 開示手数料

個人成績の開示手数料は出願登録 1 件につき 600 円となり､検定料と併せてお支払いいただきます。なお、既納の開示手数料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。

①　開示手数料を払い込んだが、出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった場合

②　出願受付後に無資格者であることが判明した場合

4) 成績開示期間（以下の開示期間外は一切確認できなくなりますので、ご注意ください。）

2027 年 4 月上旬～4 月下旬

5) 成績開示方法

上記の成績開示期間にインターネット出願サイトにログインしマイページから成績を確認してください。

14. 学生寮のお知らせ（令和 9（2027）年度学部第 1 年次入学者）

1）学生寮の概要等

<table>
<tr><td>名称</td><td colspan="2">青鷹寮（品川キャンパス）</td><td>海王寮（越中島キャンパス）</td></tr>
<tr><td>所在地</td><td colspan="2">東京都港区港南 4 - 5 - 7</td><td>東京都江東区越中島 2 - 2 - 8</td></tr>
<tr><td rowspan="2">部屋の形状</td><td>単身Ａ</td><td>単身Ｂ</td><td rowspan="2">男子 1～3 寮、女子 4 寮
約 12.5 ㎡/1 人（準個室）
※1 室を 2 部屋に区切り 2 人で使用
エレベーターはありません
※共同浴場（男子のみ）、シャワー、トイレ、ミニキッチン、洗面所、洗濯室は共用</td></tr>
<tr><td>約 9 ㎡/居室（個室）
※シャワー、トイレ、ダイニングキッチンは共用</td><td>約 13 ㎡/居室（個室）
※シャワー、トイレ、キッチンは居室内完備
※単身Ａ専用共用部は使用できません。</td></tr>
<tr><td rowspan="5">経費</td><td>寄宿料　480,000 円/年</td><td>寄宿料　780,000 円/年</td><td>寄宿料　　36,000 円/年</td></tr>
<tr><td>光熱水費 居室での利用分
単身Ａ専用共用部での利用分</td><td>光熱水費 居室での利用分</td><td>光熱水費等 54,000 円/年</td></tr>
<tr><td>入寮時預り金 40,000 円</td><td>入寮時預り金 65,000 円</td><td>入寮費　　30,000 円/入寮時のみ</td></tr>
<tr><td colspan="2">共益費　　なし</td><td>共益費　　38,400 円/年</td></tr>
<tr><td colspan="2">ランドリー使用料金（使用都度払 1 回 300 円。乾燥機 30 分含む）</td><td>学生寮運営のための諸経費
45,600 円/年＋7,000 円/入寮時のみ</td></tr>
<tr><td>募集人数</td><td colspan="3">入寮募集要項を確認してください。
※外国人留学生は【外国人留学生対象の入居者募集について】を確認してください。</td></tr>
<tr><td>選考方法</td><td colspan="3">応募者多数の場合は、下記の選考方法により選考します。
・片道の通学時間が 2 時間以上で、本学所定の選考基準により算出した家計評価の困窮度の高い順から選考
・応募者が定員を満たさなかった場合、2 時間未満の片道の通学時間を 30 分単位で区分けし、家計評価の困窮度の高い順から選考</td></tr>
<tr><td>入居期間</td><td colspan="3">2027 年 4 月 1 日(木)～2029 年 3 月 23 日(金)（2 年間）</td></tr>
</table>

※2027 年度入寮募集要項（2027 年 1 月上旬公表予定）を必ず確認してください。

なお、入寮者の募集期間は、2027 年 2 月 3 日（水）～2027 年 2 月 16 日（火）となります。

2）入寮の応募方法について

募集人数・募集時期・選考方法及び必要経費等については現在検討しており、それらについて記載した入寮募集要項は、大学ホームページからダウンロードできる予定です。

東京海洋大学ホームページ→学生生活→学生寮→入寮募集要項

入寮募集要項の大学ホームページ公開時期については、「2027 年度学生寮募集日程」により確認してください。

東京海洋大学ホームページ→学生生活→学生寮→学生寮募集日程

学生募集要項に関する問い合わせ先

〒108-8477
東京都港区港南 4-5-7
東京海洋大学 入試課入試第一係
TEL 03-5463-0510
（平日 9:00～17:00 /12:00～13:00、
土･日･祝日及び 12 月 29 日～1 月 3 日を除く）
E-mail n-nyusi1@o.kaiyodai.ac.jp